

足立区ユニバーサルデザイン推進計画

# 評価報告書

(区が実施する施策の評価結果)  
— 令和3年度実施事業分 —

令和5年4月



足立区都市建設部都市建設課  
ユニバーサルデザイン担当課



## 総評 個別施策の評価にあたって

本推進会議では、本年も足立区における令和3年度ユニバーサルデザイン推進事業評価を行いました。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響に見舞われた東京2020オリンピック・パラリンピックが1年を経てようやく実施された年です。当時を振り返れば、国内においてはこの影響がまだ大きなままでした。今回の区の事業評価はこのような社会情勢の下で実施された評価であり、1年前と同様に様々な制限の下で実施されたものです。

とはいえ生活者の視点に立てばどのような状況下であっても、ときに生活権や生存権にかかわることもあり、けっして許されるものではありません。したがって、評価にあたっては「しかたがなかった」という事情を考慮しませんでしたから、関係する部課にとっては厳しい結果になったと思います。

それにもかかわらず、総体的に見ればコロナ禍も2年目となり1年目の様々な教訓が生かされ、大きく評価を下げるものはほぼありませんでした。これは高く評価しました。

さて、本報告にあたっては、一段とフォーマット見やすくなったことにお気づきでしょうか。各担当部課の事業報告も以前と比較して、より客観的で具体的であり、事業報告の過程で関係各部課が自ら評価ができるようになったことがうかがわれました。

最後に、長く続いた施策実施評価にもかかわらず、それらを客観的に評価できる効果測定が希薄なことに課題があると私たちは認識しました。各関係部課におかれましては、単に実績数だけでなく、それらが区民にどのように受け入れられたかを検証するプログラムを自ら創りあげる必要性を感じています。

ユニバーサルデザインの先にあるものはなんでしょうか。キーワードは「多様性」と「人権」ではなかったかと思います。私たちはユニバーサルデザイン評価において、この2つのキーワードを意識した事業実施だったかという視点に立ちました。次年度以降もこうしたキーワードを意識した事業への取り組みを強く望みます。

令和5年3月

足立区ユニバーサルデザイン推進会議

会長 八藤 後 猛

# 目 次

## I ユニバーサルデザイン推進計画とは

- 1 ユニバーサルデザイン推進計画の策定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 ユニバーサルデザイン推進計画の構成(全体イメージ)・・・・・・・・・・ 1

## II 実績の評価

- 1 評価の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 評価の体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 評価の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 4 評価方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - (1) 施策の各事業における自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
  - (2) 施策における推進会議の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

## III 施策の評価結果

- 1 施策一覧と評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 評価結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (1) 評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (2) 今後の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 3 施策の評価シートの見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - (1) 表題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - (2) 個別事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
  - (3) 施策の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 4 施策および各個別事業の評価調書・・・・・・・・・・ 10
  - ・ 施策および各個別事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
    - 柱-1 思いやりある『ひとづくり』・・・・・・・・・・ 15
    - 柱-2 快適に過ごせる『くらしづくり』・・・・・・・・ 55
    - 柱-3 便利に生活できる『まちづくり』・・・・・・・・ 92
    - 柱-4 みんなに役立つ『しくみづくり』・・・・・・ 146

# I ユニバーサルデザイン推進計画とは

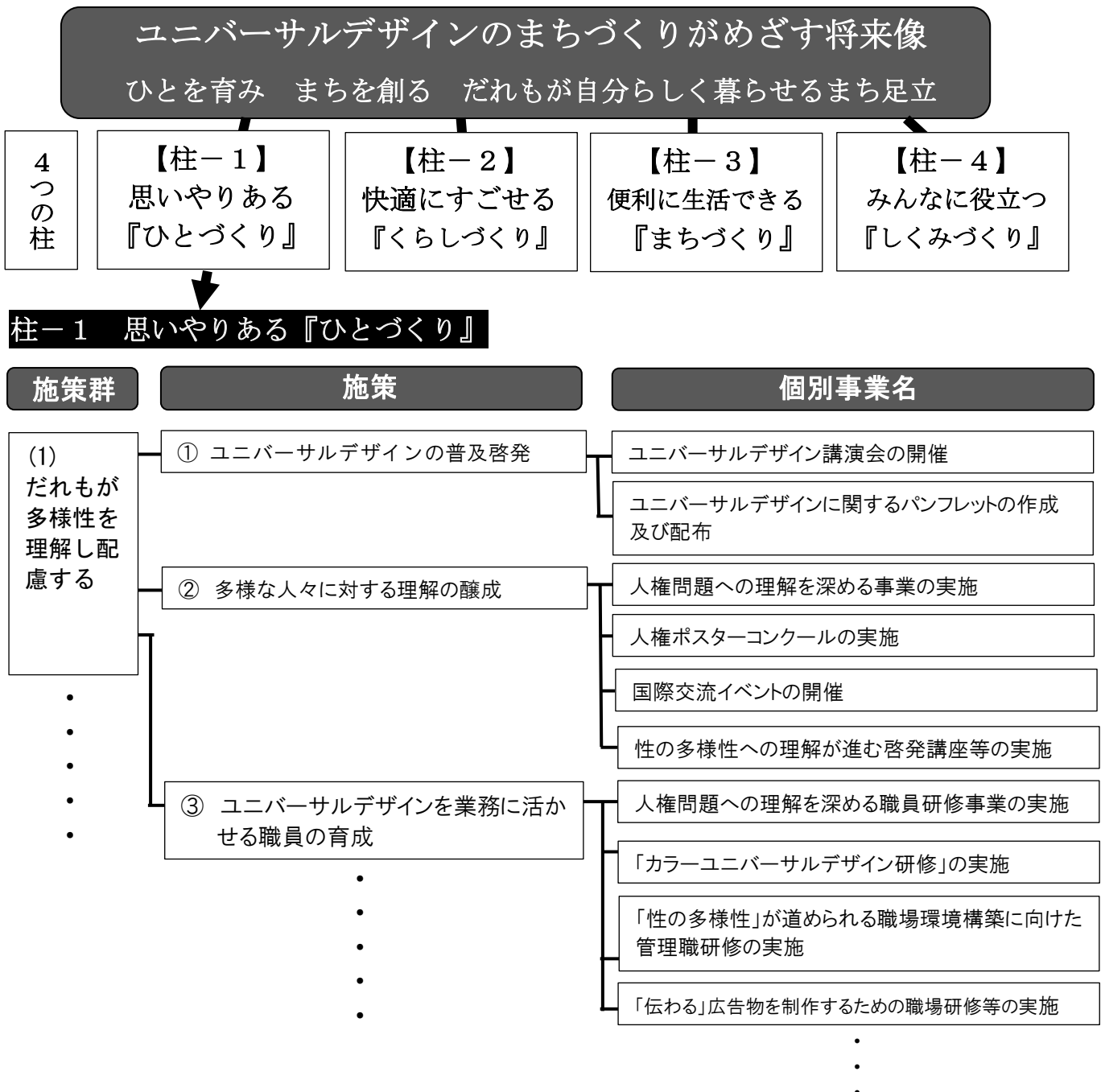
## 1 ユニバーサルデザイン推進計画の策定

平成24年に足立区は、「足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例」を制定し、障がいのある方もない方も、子どもも高齢者も、互いの個性を認め合い、一人ひとりの人権が尊重され、すべての人がいきいきと安心して暮らせるまちの実現をめざしました。

そのユニバーサルデザインのまちづくりを体系的かつ総合的に推進していくために、区の基本構想及び基本計画を踏まえ各個別計画と連携を図りながら、平成26年8月に策定したのが「足立区ユニバーサルデザイン推進計画」です（以下「推進計画」という）。

その後、ユニバーサルデザインを取り巻く社会情勢の変化に対応すべく、令和2年2月には、令和7（2025）年度までの7カ年の計画として推進計画を改定し、「ひとを育み まちを創る だれもが自分らしく暮らせるまち 足立」を目標に掲げ、「ひと」「くらし」「まち」「しくみ」の4つの視点から施策を整理し直しました。

## 2 ユニバーサルデザイン推進計画の構成（全体イメージ）



## II 実績の評価

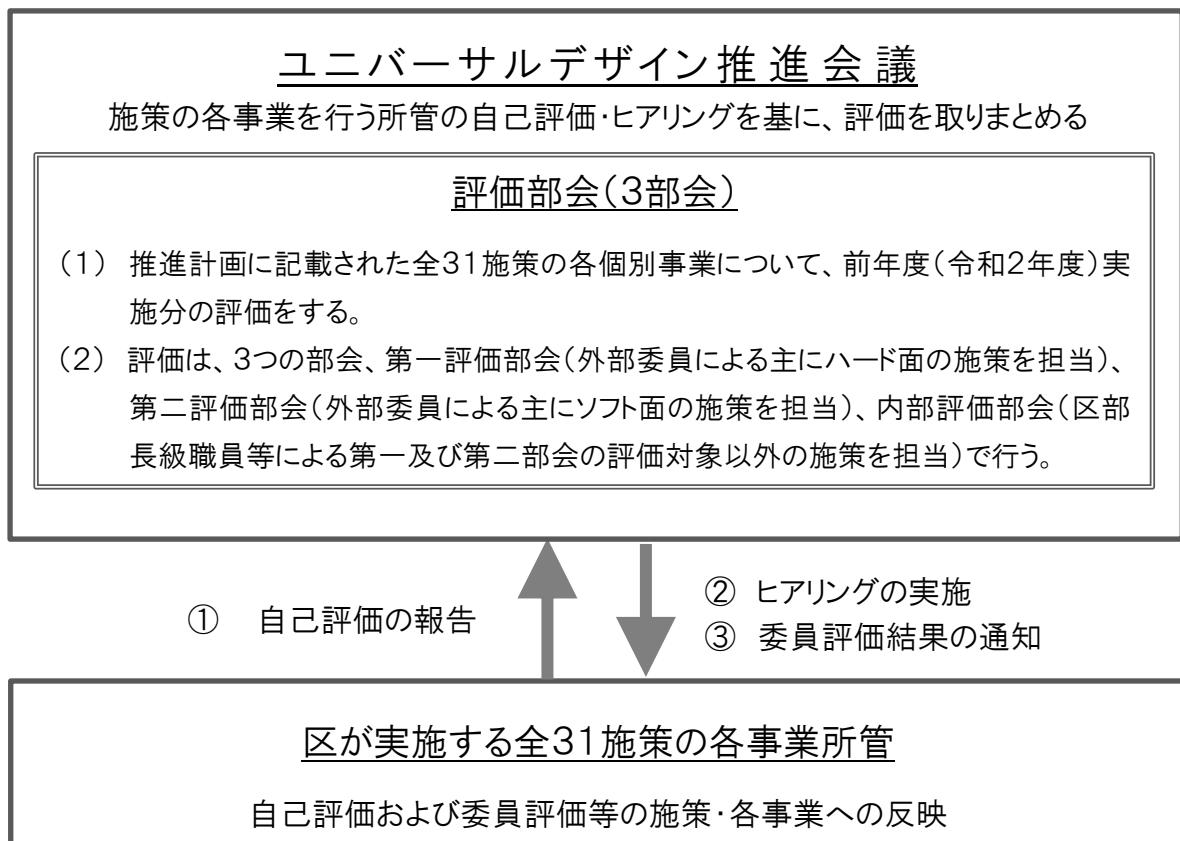
### 1 評価の考え方

推進計画は毎年、各施策とその施策の個別事業の評価を行っています。

各施策の個別事業の担当所管による自己評価を行った後、ユニバーサルデザイン推進会議委員（学識経験者等）による総括意見と総合評価を受けています。

### 2 評価の体制

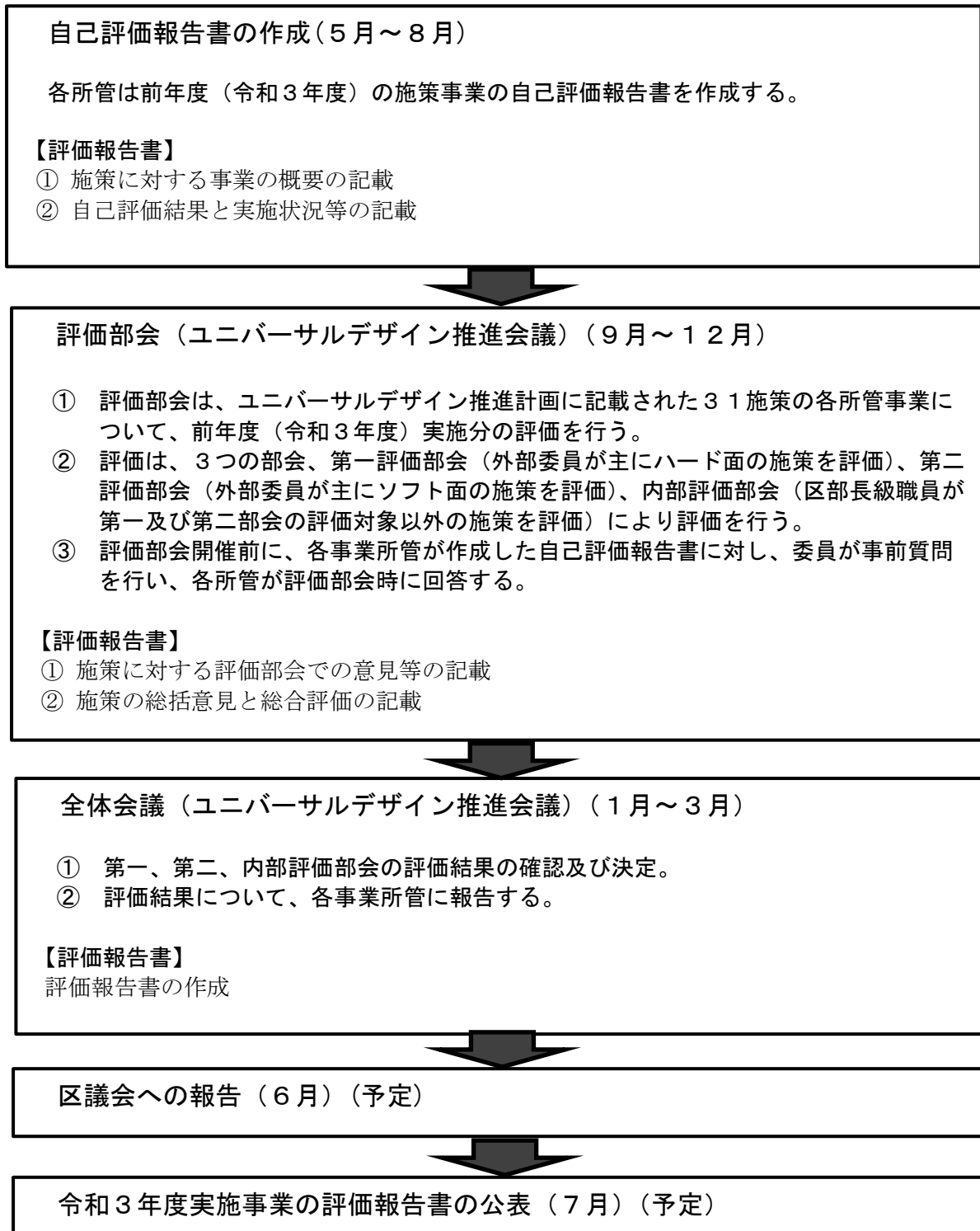
ユニバーサルデザイン推進会議は、15名の委員（学識経験者・関係団体・事業者・公募区民・区職員）で構成され、ユニバーサルデザインのまちづくりに関する基本的な計画である、「推進計画」の進行管理を以下の通り行っています。



※ 所管: 施策の各事業を実施する部署

### 3 評価の流れ

施策の各事業所管による自己評価報告書の作成後、評価部会は、自己評価報告書に対する質問等を行います。その後、各所管とのヒアリング等を踏まえ評価を実施、全体会議(ユニバーサルデザイン推進会議)で評価内容を決定した上で、庁内調整会議の開催、建設委員会への報告を経て、区ホームページ上に公表します。



#### 4 評価方法

##### (1) 施策の各事業における自己評価

【評価者】 各事業の所管課

ユニバーサルデザイン推進計画の施策の各事業の実施結果につき「実績」「効果」「課題」等の内容とともに、自己評価結果欄に「計画どおり進行」「計画を一部変更して進行」「その他」のいずれかを記載します。

推進計画の施策の各事業の自己評価






実施状況	自己評価結果	内容
	計画どおり進行	年次計画の通り、実施した場合
	計画を一部変更して進行	何らかの事情により年次計画を一部変更して、実施した場合
	その他	その他、計画の見直しや事業の未実施等の理由による場合

##### (2) 施策における推進会議の評価

【評価者】 ユニバーサルデザイン推進会議委員（学識経験者等）

施策の各事業の自己評価後、ユニバーサルデザイン推進会議の評価部会において、推進会議委員が、各事業の所管課とのヒアリング等を踏まえ、施策を5段階で評価（「1点」～「5点」）する。

施策の総合評価、5段階評価の評価点と総括意見について

総合評価の実施方法		
総合評価の方法	評価部会において、推進会議委員が施策の各事業の所管課とのヒアリングを踏まえ、「実績」「効果」「課題」の3つの視点で議論し、施策ごとにまとめた各所管の評価結果を踏まえ、下記の「5段階評価」で評価する。なお、その結果については、ユニバーサルデザイン推進会議で精査し、「総括意見」を加え、決定する。	
総合評価		5段階評価の意味
5段階評価点	評価のイメージ図	
5段階評価の5	★★★★★ 	
5段階評価の4	★★★★☆ 	
5段階評価の3	★★★☆☆ 	
5段階評価の2	★★☆☆☆ 	
5段階評価の1	★☆☆☆☆ 	
総括意見	各評価部会で評価した施策に対するユニバーサルデザイン推進会議としての意見を、「総括意見」として記入する。	



### Ⅲ 施策の評価結果

#### 1 施策一覧と評価結果

施策番号	施策名	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	ページ
<b>柱一 思いやりある『ひとづくり』</b>									
1-(1)-①	ユニバーサルデザインの普及啓発	4	4	4	4	4	4	4	15
1-(1)-②	多様な人々に対する理解の醸成	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>2</u>	4	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	19
1-(1)-③	ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成	5	4	5	4	4	4	4	27
1-(2)-①	児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進	<u>2</u>	<u>3</u>	4	4	4	5	4	39
1-(2)-②	児童・生徒への国際理解教育の推進	4	4	<u>3</u>	<u>3</u>	4	<u>2</u>	<u>2</u>	45
1-(2)-③	学習環境におけるユニバーサルデザインの推進	<u>3</u>	<u>3</u>	4	<u>3</u>	4	4	4	48
1-(3)-①	多様な人々の連携・支援	4	4	4	<u>3</u>	4	4	4	55
<b>柱二 快適にすごせる『くらしづくり』</b>									
2-(1)-①	多様な人々への移動支援	4	4	4	4	4	4	4	63
2-(1)-②	多様な人々へのコミュニケーション支援	4	4	4	4	4	4	4	70
2-(2)-①	住宅の改良支援	<u>3</u>	4	4	4	4	4	5	75
2-(2)-②	住宅確保要配慮者への居住支援	(新たに位置付けた施策)				<u>3</u>	4	5	81
2-(3)-①	ユニバーサルデザイン製品の周知啓発	<u>3</u>	4	4	<u>3</u>	4	4	<u>3</u>	84
2-(3)-②	ユニバーサルデザイン製品の開発支援	4	4	4	<u>3</u>	4	<u>3</u>	<u>3</u>	89
<b>柱三 便利に生活できる『まちづくり』</b>									
3-(1)-①	安全な道路環境の整備	4	4	4	4	4	4	4	92
3-(1)-②	歩行者空間の確保	4	4	5	5	4	4	5	100
3-(1)-③	公共交通施設の整備・誘導・支援	<u>3</u>	4	<u>3</u>	4	4	4	4	104
3-(2)-①	公共建築物のユニバーサルデザインの推進	4	5	4	4	4	4	4	108
3-(2)-②	区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進	4	5	4	4	4	5	5	115
3-(2)-③	区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進	4	5	4	4	4	4	4	119
3-(2)-④	区営住宅のユニバーサルデザインの推進	<u>3</u>	5	5	4	4	4	5	123
3-(3)-①	区立公園等のユニバーサルデザインの推進	4	4	4	4	4	4	5	127
3-(3)-②	公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進	4	<u>3</u>	4	4	4	5	5	131
3-(3)-③	イベント会場等のユニバーサルデザインの推進	(新たに位置付けた施策)				4	5	5	134
3-(4)-①	国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導	4	4	4	4	4	4	4	137
3-(4)-②	民間建築物のユニバーサルデザインの誘導	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	4	<u>3</u>	4	4	141
<b>柱四 みんなに役立つ『しくみづくり』</b>									
4-(1)-①	ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理	5	4	4	4	4	5	4	146
4-(1)-②	区民の意見を区政に反映させる体制の充実	<u>3</u>	4	4	4	4	4	4	150
4-(2)-①	ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用	5	5	5	4	4	5	5	160
4-(2)-②	わかりやすい表現による印刷物の作成	5	5	5	5	4	5	5	164
4-(2)-③	だれもが利用しやすい電子情報の作成	4	4	4	<u>3</u>	<u>3</u>	4	4	170
4-(3)-①	効果的な防災・災害情報等の提供	<u>3</u>	4	4	<u>3</u>	4	4	4	175
<b>平均点</b> (※ H26～30は旧施策に基づく評価点)		3.74	3.95	3.97	3.84	3.87	4.10	4.16	ページ
評価は5から1点までの5段階 5点…最上位 1点…最下位 (3点以下下線表記)									

### Ⅲ 施策の評価結果

## 2 評価結果の概要

### (1) 評価結果

- ① 評価結果は、2点以下の評価となった事業が出たものの、全施策の平均は4.16点と昨年度と比べて、0.06ポイント上昇し、平均点は引き続き4点台に達した。
- ② 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において、施策及び各事業の実施そのものが危ぶまれる中、各所管ができる範囲で課題解決に向けた工夫や努力を行った結果、5点の評価が昨年度より増加した。
- ③ 例えば、4-(2)-①「ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用」では、「提供いただいているホームページは、表現やアクセシビリティにおいてアップデートが図られており、素晴らしい」との評価があった。その他にも5点施策が前年より3件増加した。
- ④ 今後も、今回の委員意見や評価結果、新しい生活様式等を踏まえた事業の見直しなどの検討を行ない、施策の一層の充実に努めるよう期待する。

施策の評点表（該当施策の数を示す）

事業実施年度	施策数	1点	2点	3点	4点	5点	平均点
令和2年度の施策事業	31	0	1	2	21	7	4.10
令和3年度の施策事業	31	0	1	3	17	10	4.16

### (2) ユニバーサルデザイン推進会議の今後の方針

- ① 今回の評価結果を、各所管を含め広く周知していく。また、評価過程で出た意見等を真摯に受け止め、ユニバーサルデザインのまちづくりのスパイラルアップを図っていく。
- ② 昨年度から続く、新型コロナウイルス感染症により、区の施策事業についても中止、延期、見直しなどを余儀なくされている。今後も各担当所管が新しい生活様式を様々な形で模索・実践しながら、施策・事業を展開していくよう求めていく。
- ③ ユニバーサルデザインまちづくり条例の制定から10年が経過し、また、現行のユニバーサルデザイン推進計画の実施期間（令和7年度までの7か年）の前半を終えたことから、推進会議においても、各担当所管の施策の検証を行い、新しい価値観も取り入れながらユニバーサルデザインに関する施策をより発展させるすべく、施策の見直しを含めた議論を行いながら、改善を実施する。

### 3 施策の評価シートの見方

#### (1) 表題

**柱立て** 思いやりある『ひとづくり』  
**施策群** だれもが多様性を理解し配慮する

■ **施策名等**  
施策の「柱立て(4つの柱)」「施策群」「施策番号」「施策名」を記載しています。

**施策** 7-(1)-①

## ユニバーサルデザインの普及啓発

### 施策の個別事業

- 1 ユニバーサルデザイン講演会の開催 (ユニバーサルデザイン担当課)・・・P16
- 2 ユニバーサルデザインに関するパンフレットの作成及び配布 (ユニバーサルデザイン担当課)・・・P17

■ **施策の個別事業**  
施策の個別事業について、担当所管を含め記載しています。

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P18

■ **施策の評価**  
施策の評価をしたページを記載しています。

(2) 個別事業

■ 施策に対する各事業の概要  
 ユニバーサルデザイン推進計画によって計画された、施策に対する各事業の目的、事業概要、取り組みに対する指標（目標値）を記載しています。

施策： ユニバーサルデザインの普及啓発

個別事業名： ユニバーサルデザイン講演会の開催  
 （ユニバーサルデザイン担当課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画	
【目的】 様々な人にユニバーサルデザインの理念を広める。	
【事業概要】 区民、事業者、他自治体、区職員等、すべての人を対象にユニバーサルデザインを推進する。実施する。	

取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
① 講演会等の開催回数（回/年）	目標	1回	1回	1回
	結果	1回	1回	1回
② 講演会等の参加人数（人/年）	目標	300人	300人	300人
	結果	300人	22人	82人
③ 講演会等のアンケートにおいて「理解が深まった」と回答した参加者の割合(%)	目標	80%	80%	80%
	結果	80%	80%以上	81.7%

■ 自己評価結果と実施状況等  
 担当所管が自己評価として、以下の3つの中から該当するものを選択しています。

- ・ 計画どおり進行
- ・ 計画を一部変更して進行
- ・ その他

また、実施状況等について記載しています。

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行(新型コロナウイルス感染状況により)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
区民、事業者、区職員など、多くの人にユニバーサルデザインの理解を深める講演会を例年実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講演会をビデオ録画し、動画配信を12月1日～12月20日の期間で実施した。 講演会実施回数:1回/年(動画配信) 参加者93名(アンケート回答者:82名) 「UDに対して理解が深まった」の回答者の割合:81.7%	新型コロナウイルス感染拡大の状況の中、人々の生活に不可欠な「食」に関するユニバーサルデザインについて、様々な視点や考え方を取り入れた事例を紹介していただいた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
今回、講演会を動画配信で実施し、会場開催と動画配信の受講の容易さや講演内容の理解度に違いがあることがアンケート結果から分かった。動画の音声や映像の質に対して課題があるが、講演会の実施方法を併用することができれば、より多くの区民や職員に対して受講の機会が増え、また新型コロナウイルス感染拡大状況に関係なく実施することができるため、より良い普及啓発の方法を検討していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

(3) 施策の評価

1-(1)-① ユニバーサルデザインの普及啓発

施策の評価

■評価部会での意見

評価部会において、推進会議委員が各事業課とのヒアリング等を踏まえ、表記する必要があると、ユニバーサルデザイン推進会議で判断したものであるについて記載。


施策名: ユニバーサルデザインの普及啓発

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特になし。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>小学生から職員まで、様々な対象者に対して手法を工夫しながら実施しているが、まだまだ改善の余地はあると思う。</p> <p>これまでの知見を活かしつつ、新しいやり方に取り組んで、「UD」について考える機会を増やせるよう努めて欲しい。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

■施策の総括意見と総合評価

総括意見 各評価部会で評価した施策に対するユニバーサルデザイン推進会議としての意見を、「総括意見」として記入する。

ユニバーサルデザイン推進会議において、総合評価を以下の5段階で評価した。

- 5点 優れた取り組みがなされ、満足できる成果となっている。
- 4点 良い取り組みがなされ、成果が十分に出ている。
- 3点 取り組みがなされ、成果が出ている。
- 2点 取り組みに課題があり、成果があまり出していない。
- 1点 取り組みに課題があり、成果が出ていない。または、実施していない。

Ⅲ 施策の評価結果

4 施策および各個別事業の評価調書

## 施策および各個別事業の評価調書

施策および各個別事業一覧

柱1 思いやりある『ひとづくり』			頁
施策群（1）だれもが多様性を理解し配慮する			
施策① ユニバーサルデザインの普及啓発			
ユニバーサルデザイン講演会の開催	ユニバーサルデザイン担当課		16
ユニバーサルデザインに関するパンフレットの作成及び配布	ユニバーサルデザイン担当課		17
施策② 多様な人々に対する理解の醸成			
人権問題に関する講演会等の実施	総務課		20
人権ポスターコンクールの実施	総務課		22
国際交流イベントの開催	地域調整課		23
性の多様性に対する理解促進講座の実施	多様性社会推進課		24
施策③ ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成			
人権問題への理解を深める職員研修事業の実施	人材育成課		28
「カラーユニバーサルデザイン研修」の実施	総務課		30
「性の多様性」が認められる職場環境構築に向けた管理職研修の実施	総務課		32
“伝わる” 広報物を制作するための職場研修等の実施	シティプロモーション課		35
ホームページ・SNS を利用した情報発信力強化	報道広報課		32
ユニバーサルデザイン庁内推進委員会の実施	ユニバーサルデザイン担当課		37
施策群（2）幼少期からユニバーサルデザインの理念に触れる			
施策① 児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進			
パラリンピアンによる講演会・障がい者スポーツ体験会の実施	政策経営課		40
ユニバーサルデザイン出張講座の実施	ユニバーサルデザイン担当課		42
施策② 児童・生徒への国際理解教育の推進			
区立小中学校での国際理解教育の実施	地域調整課		46
施策③ 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進			
「足立スタンダード」に基づく学習環境の整備	教育指導課		49
区立小・中学校の教員を対象にした人権等に関する研修会の実施	教育指導課		50
区立小・中学校への指導主事による学習環境の点検・指導	教育指導課		51
特別支援教育における ICT 活用について	支援管理課		52

Ⅲ 施策の評価結果

柱1 思いやりある『ひとづくり』			頁
施策群（3）だれもが互いにつながり支え合える			
施策① 多様な人々との連携・支援			
日本語ボランティア教室の支援	地域調整課		56
初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施	スポーツ振興課		57
高齢者が地域とのつながりを保ち続ける社会づくり	地域包括ケア推進課		59
認知症カフェの実施	地域包括ケア推進課		60
障がい福祉に関連する研修・講演の実施、講師派遣	障がい福祉課		61

柱2 快適にすごせる『くらしづくり』			頁
施策群（1）だれもが安心して生活できる環境を充実させる			
施策① 多様な人々への移動支援			
シルバーカー購入費用の一部助成	高齢福祉課		64
障がい者への様々な移動手段を確保する	障がい福祉課		65
施設通所バスの運行	障がい福祉センター		67
高齢者等が円滑に移動できるための交通手段の提供	交通対策課		68
施策② 多様な人々へのコミュニケーション支援			
外国人相談の充実	地域調整課		71
聴覚障がい者に対してコミュニケーション手段を支援	障がい福祉課		72
施策群（2）だれもが暮らしやすい住宅を確保する			
施策① 住宅の改良支援			
高齢者に対する住宅改修費用の助成	高齢福祉課		76
要支援・要介護認定者の住環境の改善	介護保険課		77
重度障がい者向け住宅改良事業	障がい福祉課		78
段差解消等の住宅改良助成制度	建築防災課		79
施策② 住宅確保要配慮者への居住支援			
住宅確保要配慮者に対する住宅支援事業	住宅課、地域包括ケア推進課		82
施策群（3）だれもが使いやすい製品を普及させる			
施策① ユニバーサルデザイン製品の周知啓発			
区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品の普及を支援する	産業振興課		85
ユニバーサルデザイン製品の展示	ユニバーサルデザイン担当課		86
施策② ユニバーサルデザイン製品の開発支援			
区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品づくりを促進する	産業振興課		90



柱3 便利に生活できる『まちづくり』			頁
施策群（1）だれもが円滑に移動できる環境を整備する			
施策① 安全な道路環境の整備			
	歩行者系案内サインに関する各種取り組み	都市建設課	93
	自転車ナビマークの整備	交通対策課	95
	歩車道のバリアフリー化工事	道路整備課	96
	都市計画道路の整備	道路整備課	97
施策② 歩行者空間の確保			
	駅前における放置自転車対策について	交通対策課	101
	歩行者が安心できる道路環境作り	道路公園管理課	102
施策③ 公共交通施設の整備・誘導・支援			
	「足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助要綱」の活用状況	都市建設課	105
	「はるかぜ」バス停のベンチや点字ブロック等の整備	交通対策課	106
施策群（2）だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する			
施策① 公共建築物のユニバーサルデザインの推進			
	本庁舎施設の整備	庁舎管理課 中部地区建設課	109
	ユニバーサルデザインに配慮した公共建築物を整備する	中部・東部・西部地区建設課	110
	住区センターの案内サインの整備	住区推進課	112
	大規模改修に伴う図書館内サイン、ピクトグラムを設置	中央図書館	113
施策② 区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進			
	ユニバーサルデザインに配慮した学校施設の設計及び整備	中部・東部・西部地区建設課	116
施策③ 区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進			
	保育園利用者の利便性に配慮した施設改修等	子ども施設運営課	120
施策④ 区営住宅のユニバーサルデザインの推進			
	新田地域における区営住宅の集約建替えについて	住宅課 区営住宅更新担当課	124
施策群（3）だれもが利用しやすい屋外施設等を整備する			
施策① 区立公園等のユニバーサルデザインの推進			
	区立公園等のユニバーサルデザインの推進	パークイノベーション推進課	128
施策② 公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進			
	公共自転車駐車場の整備	交通対策課	132
施策③ イベント会場等のユニバーサルデザインの推進			
	イベントで使用するパネル等の作成や会場のレイアウト支援	シティプロモーション課	135

柱3 便利に生活できる『まちづくり』			頁
施策群（４）だれもが利用しやすい施設等の整備を誘導・支援する			
施策① 国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導			
都立中川公園整備の検討	都市建設課		138
「公共施設等整備基準 事前協議」の実施	都市建設課		139
施策② 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導			
ユニバーサルデザインに配慮した民間施設の整備を促進する	障がい福祉課		142
小規模事業者経営改善補助金の活用	産業振興課		143
大規模店舗等のユニバーサルデザインの推進	開発指導課		144

柱4 みんなに役立つ『しくみづくり』			頁
施策群（１）参加しやすい開かれた区政を運営する			
施策① ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理			
ユニバーサルデザイン推進会議の実施	ユニバーサルデザイン担当課		147
施策② 区民の意見を区政に反映させる体制の充実			
パブリックコメントの実施	政策経営課		151
審議会委員等の公募制の推進	政策経営課		153
審議会等の女性比率向上の取組みについて	多様性社会推進課		155
「区民の声」のサービスアップの取組み	区民の声相談課		156
道路、公園、施設及び通学路の点検	学務課、ユニバーサルデザイン担当課		157
施策群（２）だれにでも伝わる情報を作成・発信する			
施策① ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用			
外注印刷物作成報告書の確認	総務課		161
ウェブアクセシビリティに配慮した情報発信	報道広報課		162
施策② わかりやすい表現による印刷物の作成			
だれでも読みやすい「あだち広報」を作成し発信する	報道広報課		165
ユニバーサルデザインに配慮した印刷物を作成する	関係各課		167
施策③ だれもが利用しやすい電子情報の作成			
だれもが利用しやすいホームページの作成とSNSの発信	報道広報課		171
区議会ホームページの更新	区議会事務局		173
施策群（３）災害から身を守る情報を提供する			
施策① 効果的な防災・災害情報等の提供			
A-メール・安心電話等による災害関連の情報発信	災害対策課 報道広報課		176
災害時に必要な情報の提供	災害対策課		178
洪水ハザードマップ等による水害情報の発信	都市建設課		180

**柱立て** 思いやりある『ひとづくり』  
**施策群** だれもが多様性を理解し配慮する

**施策** 1-(1)-①

## ユニバーサルデザインの普及啓発

### 施策の個別事業

- 1 ユニバーサルデザイン講演会の開催（ユニバーサルデザイン担当課）・・・・・・・・P16
- 2 ユニバーサルデザインに関するパンフレットの作成及び配布  
（ユニバーサルデザイン担当課）・・・・・・・・P17

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・P18

**施策： ユニバーサルデザインの普及啓発**

個別事業名： ユニバーサルデザイン講演会の開催  
(ユニバーサルデザイン担当課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 様々な人にユニバーサルデザインの理念を広める。					
【事業概要】 区民、事業者、他自治体、区職員等、すべての人を対象にユニバーサルデザインに関連する講演会を実施する。					
取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 講演会等の開催回数 (回/年)	目標	1回	1回	1回	1回
	結果		1回	1回	
② 講演会等の参加人数 (人/年)	目標	300人	300人	300人	300人
	結果		22人	82人	
③ 講演会等のアンケートにおいて「理解が深まった」と回答した参加者の割合(%)	目標	80%	80%	80%	80%
	結果		80%以上	81.7%	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行(新型コロナウイルス感染状況により)	
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと	
<p>区民、事業者、区職員など、多くの人にユニバーサルデザインの理解を深める講演会を例年実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講演会をビデオ録画し、動画配信を12月1日～12月20日の期間で実施した。</p> <p>講演会実施回数:1回/年(動画配信) 参加者 93名(アンケート回答者:82名)</p> <p>「UDに対して理解が深まった」の回答者の割合:81.7%</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の状況の中、人々の生活に不可欠な「食」に関するユニバーサルデザインについて、様々な視点や考え方を取り入れた事例を紹介していただいた。</p>	
実績・効果に対する今後の課題・方針		
<p>今回、講演会を動画配信で実施し、動画配信においても例年と同程度の理解度があることがアンケート結果から分かった。動画の音声や映像の質に対して課題があるが、講演会の実施方法を併用することができれば、より多くの区民や職員に対して受講の機会が増え、また新型コロナウイルス感染拡大状況に関係なく実施することができるため、より良い普及啓発の方法を検討していく。</p>		

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：ユニバーサルデザインの普及啓発**

個別事業名：ユニバーサルデザインに関するパンフレットの作成及び  
配布（ユニバーサルデザイン担当課）

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 様々な人にユニバーサルデザインの理念を広める。					
【事業概要】 ユニバーサルデザインに関するパンフレット等を作成し、配布する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取り組みに対する指標					
パンフレット等によるユニバーサルデザインの周知方法	目標	パンフレット作成	配布		
	結果		実施した 約1600部	実施した 約760部	

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画を一部変更して進行(新型コロナウイルス感染状況により)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>ユニバーサルデザインに関係する講演会やイベントに合わせて、参加者へパンフレットを配布した。</p> <p>区内小学校へ出張講座にあわせて児童や生徒へパンフレットを配布した。</p> <p>配布部数：約760部</p>	<p>令和2年度と令和3年度の出張講座の実施数より、多くの機会にパンフレットを配布できたため、パンフレットの増刷を行った。</p> <p>このため、生徒・児童に対してユニバーサルデザインを考えるきっかけを与えることができた。</p> <p>加えて、生徒・児童がパンフレットを持ち帰ることで、保護者の目に触れ、家庭でもユニバーサルデザインを考える機会をつくった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後も、区内小学校へ出張講座に合わせて、児童へのパンフレットの配布を行うと共に、講演会や製品展など他事業とも絡め、より効果的な普及啓発の方法を検討していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名：ユニバーサルデザインの普及啓発

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特になし。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>小学生から職員まで、様々な対象者に対して手法を工夫しながら実施しているが、まだまだ改善の余地はあると思う。</p> <p>これまでの知見を活かしつつ、新しいやり方に取り組んで、「UD」について考える機会を増やせるよう努めて欲しい。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

**柱立て** 思いやりある『ひとづくり』

**施策群** だれもが多様性を理解し配慮する

**施策** 1-(1)-②

## 多様な人々に対する理解の醸成

### 施策の個別事業

- 1 人権問題に関する講演会等の実施（総務課）・・・・・・・・・・ P20
- 2 人権ポスターコンクールの実施（総務課）・・・・・・・・・・ P22
- 3 国際交流イベントの開催（地域調整課）・・・・・・・・・・ P23
- 4 性の多様性に対する理解促進講座の実施（多様性社会推進課）・・・・・・・・ P24

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P26

**施策： 多様な人々に対する理解の醸成**

個別事業名： 人権問題に関する講演会等の実施（総務課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 様々な人権問題に対する理解を深める。また、企業関係者等への啓発を促進し、人権問題の解決を目指す。					
【事業概要】 人権問題について区民の理解と認識を一層深めることを目的として、人権問題に関する講演会等を実施する。					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	① 講演会等の開催回数（回/年）	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>目標</span> <span>結果</span> </div>	4回	4回 中止	4回 中止
② 講演会等の参加人数（人/年）	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>目標</span> <span>結果</span> </div>	530人	530人 中止	530人 中止	530人
③ 講演会等のアンケートにおいて「理解が深まった」と回答した参加者の割合（%）	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>目標</span> <span>結果</span> </div>	95%	95% 中止	95% 中止	95%



## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他
<p align="center"><b>実績・UDとして実施したこと</b></p> <p>人権問題に関する講演会等については、以下のとおり予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止・延期とした。</p> <p>区民企画講座2回(人権団体との共催)</p> <p>&lt;中止&gt;</p> <p>人権講座(区内人権擁護委員との共催)</p> <p>&lt;中止&gt;</p> <p>人権のつどい&lt;中止&gt;</p> <p>足立区拉致問題等啓発推進条例制定 記念講演会</p> <p>&lt;延期:令和4年5月26日に開催予定&gt;</p>	<p align="center"><b>効果・UDの視点で達成できたこと</b></p> <p>いずれの講座等も、リモートでの実施を検討したが、関係団体と協議した結果、対面での実施を重視したことで、中止・延期としたため、達成できなかった。</p>
<p align="center"><b>実績・効果に対する今後の課題・方針</b></p>	
<p>講座や講演会については、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、関係団体と協議のうえで、リモート実施を検討するなど新しい生活様式に合わせた啓発を検討していく。人権ポスターコンクールについては、教育委員会と連携しながら実施に向けて調整を進める。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 多様な人々に対する理解の醸成**

個別事業名： 人権ポスターコンクールの実施（総務課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 様々な人権問題に対する理解を深める。また、企業関係者等への啓発を促進し、人権問題の解決を目指す。				
【事業概要】 区立小・中学校に在籍している児童・生徒を対象とした「人権ポスターコンクール」を実施する。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
人権ポスターコンクールの応募点数 (点/年)	700点	700点 事業中止	700点 531点	700点

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
人権ポスターコンクールは、以下のとおり実施した。 応募数 531点 例年「人権のつどい」で表彰を行っていたが、イベント中止に伴い各学校へ送付	応募点数としては目標の達成には至らなかったが、作品作りを通して、性の多様性やインターネットの利用、新型コロナウイルス感染症に関する差別問題を取り上げたものなど、身近な人権を改めて考えるきっかけや、多様な人々に対する理解の醸成につながった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
講座や講演会については、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、関係団体と協議のうえで、リモート実施を検討するなど新しい生活様式に合わせた啓発を検討していく。人権ポスターコンクールについては、教育委員会と連携しながら実施に向けて調整を進める。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：多様な人々に対する理解の醸成**

個別事業名：国際交流イベントの開催（地域調整課）

## ● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 外国人と日本人が共に地域の担い手として暮らし、文化の違いを認め合う共生社会を目指し、外国料理や民芸雑貨、歌や踊りを通じて異文化に触れ、交流を深めるイベントを行う。					
【事業概要】 外国の文化に親しみ、多言語による防災啓発等を行う国際交流イベントを開催する。					
計画年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
① 国際交流イベントの来場者数(人/年)	目標	12000 人	12000 人	12000 人	12000 人
	結果		事業中止	事業中止	
② 国際交流イベントで紹介された国の数(国と地域)	目標	20 の国と地域	20 の国と地域	20 の国と地域	20 人の国と地域
	結果		事業中止	事業中止	

## ● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>11月3日文化の日に、「あだち国際まつり」を例年実施しているが、感染症拡大防止のため、令和2年度に引き続き令和3年度も実施できなかった。</p> <p>「あだち国際まつり」の中止に伴い、過去の国際まつりの様子を区ホームページ上に掲載し、国際交流事業として紹介した。</p>	<p>「あだち国際まつり」を開催できなかったため、年次計画を達成することができなかったものの、過去のまつりの様子を区ホームページで紹介することで、コロナ禍でも外国文化に親しむことができるよう努めた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>区内感染者の発生状況等を見ながら、事業開催の可否を判断する。</p> <p>事業を中止した場合でも、オンライン等による国際交流事業の紹介について検討する。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 多様な人々に対する理解の醸成**

**個別事業名： 性の多様性に対する理解促進講座の実施  
(多様性社会推進課)**

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>(目的)</p> <p>LGBTをはじめとする性的指向や性自認に関して、悩みや困難を抱える人たちへの理解が進展する社会を醸成する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>区民を対象に、LGBTをはじめとする性的指向や性自認に関して、悩みや困難を抱える人たちへの理解が進展する啓発講座を行う。</p>				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
① 性の多様性に対する理解促進講座の開催回数	目標	2回/年	2回/年	2回/年
	結果		2回/年	2回/年
② 性の多様性に対する理解促進講座の参加人数	目標	40人/年	40人/年	40人/年
	結果		47人/年	1437人/年
③ 性の多様性に対する理解促進講座のアンケートにおいて「理解が深まった」と回答した参加者の割合(※2020年度~満足度)	目標	80%	80%	80%
	結果		87% ※	92% ※

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>年2回実施 参加者計94人 アンケートにおける講座の満足層の割合:92% ※令和3年度は「理解度」は確認していない 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大対策として、オンラインでの開催とした。 この他、出前講座を11回実施し、1,343人の参加があった。</p>	<p>回数は計画どおり、参加人数は計画を上回る結果となった。 感染防止対策としてのオンライン開催であったが、参加者が定員を上回る結果となり、有効な開催形式として認識した。以後も積極的に活用していきたい。 映画は当事者も含め、座学と比較して参加しやすい講義形式である。上映作品の選定は慎重さを要するが、性の多様性について考える「きっかけ」としては有用であると考え、今後も開催を検討したい。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>性の多様性をはじめとした人権課題にかかる啓発は一朝一夕に完了するものでなく、長期間の絶え間ない継続を要する。 性の多様性に関する基礎知識及び理解するための啓発を繰り返し継続することにより、区民が互いを認め合う「暮らしやすい」「生きやすい」まちの実現を目指す。 また、啓発講座の開催形式についても研究・検討を重ね、区民がより受講しやすい環境づくりをしていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： 多様な人々に対する理解の醸成


● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

小中学生の人権ポスターについて、まず「人権」ってどういうものかということ、それぞれの学生の発達段階に応じて学ぶというインプットなしに、アウトプットさせるというのは、非常に危険なことだと思う。まず、人権教育というものがあって、その中で自分の中に一回取り込んで表現するというフェーズが必要であると考えているが、その点が不十分に感じられる。

総務課への質問の回答として、「豊かな人権感覚」との表現があったが、豊かさとは関係がないので、「正しい人権感覚」または「時代に応じてアップデートされた人権感覚」などの方が良いと思う。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>人権とは何か、ということについての考え方、教育や普及についての方法論と姿勢、これらについての区としての基本的な位置づけを開示願います。</p> <p>ジェンダー・ロールを解体することもまた、人権問題の一つです。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 3点</p>

**柱立て** 思いやりある『ひとづくり』

**施策群** だれもが多様性を理解し配慮する

**施策** 1-(1)-③

## ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

### 施策の個別事業

- 1 人権問題への理解を深める職員研修事業の実施（人材育成課）・・・P28
- 2 「カラーユニバーサルデザイン研修」の実施（総務課）・・・P30
- 3 「性の多様性」が認められる職場環境構築に向けた管理職研修の実施（総務課）  
・・・P32
- 4 “伝わる” 広報物を制作するための職場研修等の実施  
（シティプロモーション課）・・・P33
- 4 ホームページ・SNSを利用した情報発信力強化（報道広報課）・・・P35
- 5 ユニバーサルデザイン庁内推進委員会の実施（ユニバーサルデザイン担当課）・・・P37

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P38

**施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成**

**個別事業名： 人権問題への理解を深める職員研修事業の実施  
(人材育成課)**

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p><b>【目的】</b> 高齢者、障がい者や外国籍の方など、自分とは違う立場の方を理解し、サポートするためのマインドやスキルを身に付けた職員を育成する。</p> <p><b>【事業概要】</b> 自分とは違う立場の方を理解し、サポートするための集合研修及び職場研修支援を行う。</p>					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 職員研修等の開催回数 (回/年)	目標	2回/年	2回/年	3回/年	3回/年
	結果		事業中止	2回/年	
② 職員研修等の参加人数 (人/年)	目標	30人/年	30人/年	45人/年	45人/年
	結果		事業中止	850人/年	
③ 研修会等のアンケートにおいて「効果が得られた」と回答した参加者の割合 (%)	目標	80%	80%	80%	80%
	結果		事業中止	99%	



●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
<p style="text-align: center;"><b>実績・UDとして実施したこと</b></p> <p>研修名「ユニバーサルスタイル」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者 入区2～4年目職員 (セレクト研修)</li> <li>・ 開催回数 2回</li> <li>・ 参加人数 19人</li> <li>・ 「研修目的に対する効果が得られた」と回答した参加者の割合」 100%</li> </ul> <p>研修名「基本的人権」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者 常勤職員および再任用職員</li> </ul> <p>【4年ローテーションの4年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催期間 29 日間</li> <li>・ 参加人数 831 人</li> <li>・ 「研修目的に対する効果が得られた」と回答した参加者の割合」 99%</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>効果・UDの視点で達成できたこと</b></p> <p>研修の中で講義と共に実習として、「車イスの体験と誘導」「視覚障がい者の体験と誘導」を実施する等、職員としての役割を認識し、お客様の状況の理解と、サポートするためのスキルを学ぶため、事業の効果は大きい。</p> <p>実施後の「OJTシート」アンケートから、業務だけでなく、普段の生活の中でも積極的に色々な方とコミュニケーションをとり、その人にあった介助をしていきたい。「ユニバーサルな視点を持つことを心がけ、百人百様であることを忘れずに人と接する」などのアンケート結果からも効果的な内容であったと認められた。</p> <p>各職場での適切な対応を図るため、全職員が人権問題の理解を深めることは重要である。さまざまな事例を通じた基本的人権研修は、「人権の認識を深められた」、「区民に寄り添った対応が図れる」などのアンケート結果からも効果的な内容であったと認められた。</p>
<b>実績・効果に対する今後の課題・方針</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分な注意を払いながら実施する。</li> <li>・ 高齢者、障がい者の方など、自分とは違う立場の方を理解し、サポートするためのマインドやスキルを身に着けた職員を育成することは、重要であり今後も継続していく。</li> <li>・ 補助や対応を一律にするのではなく、相手に合わせることの重要性も学ぶ必要がある。</li> <li>・ 会場は、講義と実習場所の広さが必要である。</li> </ul> <p>多様化・複雑化する人権問題に配慮し、区職員として適切な対応を図るためには、職員の人権意識の向上のための継続的な取り組みが必要である。今後も総務課、障がい福祉課と多様性社会推進課と連携の上、基本的人権研修を実施することで、職員の人権意識の向上を図り、職員一人ひとりの態度の変容につなげていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成**

個別事業名：「カラーユニバーサルデザイン研修」の実施(総務課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 ユニバーサルデザインに配慮できる職員を育成する。					
【事業概要】					
① 印刷物等の配色チェックを行えるCUD検証員を育成するために外部講師による実技研修を実施する。					
② 他研修でもユニバーサルデザインの考え方を周知し、職員の意識啓発を図る。					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① CUD検証員研修の開催回数 (回/年)	目標	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	結果		事業中止	事業中止	
① CUD検証員研修の参加人数 (人/年)	目標	30人/年	30人/年	30人/年	30人/年
	結果		事業中止	事業中止	
① CUD検証員研修のアンケートで 「配色について理解し、仕事に活用 できる」と回答した参加者の割合 (%)	目標	80%	80%	80%	80%
	結果		事業中止	事業中止	
② 他のUD研修の開催回数 (回/年)	目標	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
	結果		事業中止	2回/年	
② 他のUD研修の参加人数 (人/年)	目標	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年
	結果		事業中止	64人/年	
② 他のUD研修のアンケートで 「UDの考え方について理解した」と 回答した参加者の割合(%)	目標	80%	80%	80%	80%
	結果		事業中止	約80%	

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>①令和3年9月13日にカラーユニバーサルデザイン研修を予定していたが、コロナ禍の影響で中止した。</p> <p>②令和3年7月1日実施の文書管理基礎研修において、バリエーションを用いカラーユニバーサルデザインについて周知した。</p> <p>2回/年 64人/年 約80%</p>	<p>①本事業に関しては、研修の中止により、達成できなかった。</p> <p>②アンケートにおいて、参加者の約80%が研修の目的に対し理解できた旨の回答があった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>令和4年度もコロナ禍の影響で実施できるか不明だが、令和4年9月5日に外部講師による実技研修を予定している。</p> <p>引き続き、文書管理基礎研修において、ユニバーサルデザインの考え方やバリエーションの使い方の周知を行っていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成**

**個別事業名： 「性の多様性」が認められる職場環境構築に向けた管理職研修の実施（総務課）**

**● 施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 性の多様性に配慮しながら職務を遂行できる職員を育成する。					
【事業概要】 性の多様性に関する研修等を実施する。					
取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 職員研修等の開催回数（回/年）	目標	1回/年	1回/年	1回/年	—
	結果		他事業で実施	他事業で実施	
② 職員研修等の参加人数（人/年）	目標	30人/年	15人/年	15人/年	—
	結果		他事業で実施	他事業で実施	
③ 研修会等のアンケートにおいて「効果が得られた」と回答した参加者の割合（%）	目標	85%	85%	85%	—
	結果		他事業で実施	他事業で実施	

**● 自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	その他
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>性の多様性について区民啓発を進めていくうえでは、まずは職員の理解を深めることが重要であることから、平成30年度、令和元年度に管理職を対象とし「性の多様性が認められる職場環境づくり」研修を実施した。その後、令和2年度に「足立区LGBTガイドライン」を作成し全庁に向けて配布した。令和3年5月には全職員を対象としたガイドラインの説明会を実施した。今後は、以前から実施している全職員対象の「基本的人権研修」の科目としてLGBTを取り上げていくことで、引き続き性の多様性への理解を深めていく。</p>	<p>管理職研修のアンケート回答者のうち98%が「性の多様性への理解が深まった」と回答があった。また「意識をあらためた」「職員から相談された際、職場内での対応に役立てたい」などの意見もあり、性の多様性が認められる職場環境構築に向けて、管理職の理解が深まった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>職員研修に関しては、人材育成課において、全職員を対象に「基本的人権研修」内の1つの科目として実施している。また、令和3年度よりLGBT関連施策を多様性社会推進課が所管することとなった。今後も各所管と連携することで、LGBTに対する職員の理解促進や区民への啓発を推進していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成**

個別事業名：“伝わる”広報物を制作するための職場研修等の実施  
(シティプロモーション課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 ユニバーサルデザインに配慮した印刷物を作成できる職員を育成する。					
【事業概要】 印刷物の作成に関する研修を実施する。また、印刷物の作成に関する相談・アドバイスを実施する。					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	① 職員研修等の開催回数（回/年）	目標 結果	4回/年	4回/年 4回/年	4回/年 4回/年
② 職員研修等の参加人数（人/年）	目標	70人/年	134人/年	70人/年 126人/年	70人/年
③ 研修会等のアンケートにおいて「意識が変わった」と回答した参加者の割合（%）	目標 結果	80%	80% 95.4%	80% 98.4%	80%
④ 相談・アドバイスに対応した割合（%）	目標 結果	100%	100% 100%	100% 100%	100%

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>チラシ制作やカメラ・写真表現、担当業務の「目的」を認識してもらい「成功チャート」作り等、実施したさまざまな研修や日々の相談を通じて“伝わる”広報物の制作や情報発信のスキルアップを図った。</p> <p>デザイン研修:2回(31人) カメラ研修:1回(15人)</p> <p>アイデアを生み出す「成功チャート」の作り方研修:1回(80人) →総受講人数:126人</p> <p>「意識が変わった」と回答した割合:98.4%</p> <p>各所管課がポスターやチラシ等を作成する際のデザインやキャッチコピー等の作成を支援した(396件 100%対応)</p>	<p>情報整理ができたうえで相談にくる職員が増えつつあり、完成度や相談内容のレベルから、広報物制作に関する職員の意識技術力、発想力は庁内に定着しつつある。</p> <p>チラシ、ポスター制作だけにとどまらず、ホームページやSNS作成など、様々な媒体を活用した“伝わる”情報発信が庁内で広がりつつある。</p> <p>「成功チャート」の作り方研修を実施したことで、担当業務の「目的」を認識してもらい、情報発信において何を優先的に伝えるべきかの意識付けができた。</p> <p>常駐デザイナーがいることで迅速かつ高度なアドバイスが可能となり、目標の件数に達した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>引き続き、デザイン作成支援や研修の中で「わかりやすい」「伝わりやすい」情報発信の支援を行っていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成**

個別事業名： ホームページ・SNS を利用した情報発信力強化  
(報道広報課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもがわかりやすいホームページの作成及びSNS発信を行える職員を育成する。					
【事業概要】 ウェブ特有の「読みやすい・伝わりやすい文章」の書き方についての研修を行う。					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	① 職員研修等の開催回数 (回/年)	目標 結果	1回/年	1回/年 2回/年	1回/年 3回/年
② 職員研修等の参加人数 (人/年)	目標 結果	150人/年	150人/年 158人/年	150人/年 247人/年	150人/年
③ 研修会等のアンケートにおいて「仕事において活用できる」と回答した参加者の割合 (%)	目標 結果	100%	100% 90%	100% 90%以上	100%

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ研修を実施                      現役のコピーライターである外部講師を招き、ホームページ作成のコツ、伝える時に気を付けるべき点をワークショップを通して学ぶ研修を行った。</li> <li>・ 情報発信力強化研修を実施                      シティプロモーション課と合同で二部制で実施。第一回では先進自治体の講師を招き、担当業務の目的を意識して戦略を考えるロジック研修を実施。第二回では広告代理店からの講師を招き、第一回で整理した担当業務を題材に魅力的なSNS記事作成のテクニックを学ぶ研修とした。</li> <li>・ SNSレポートの公表                      反響が多かった記事トップ5 および、各課で投稿した記事のアクセスデータを掲示板に毎月掲載。どのような記事に反応があるのかコツやポイントを成功事例としてレポート。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ研修は、インターネットリーダーを対象に91名が参加。情報発信力強化研修は、各課の広報担当者を対象に実施し、第一回80名、第二回に76名が参加。いずれの研修も、職務に活用できる内容であったと回答した割合は9割以上だった。</li> <li>・ SNSの全庁利用が浸透してきており、昨年度と比べて投稿数が増加。投稿記事の品質も向上しており、フォロワー数が増加。Facebookでは減少したが、Twitterのいいね数(反響数)が増加している。                      [Twitter] フォロワー数 2,908人増、                      投稿数 876件増、                      いいね数 1,538増                      [Facebook] フォロワー数 333人増、                      投稿数 357件増、                      いいね数 9,348減                      [LINE] 友だち登録数 32,707人(令和4年3月末時点) 13,063人増</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>近年、情報メディアが多様化し、複数のメディアを活用して情報発信することが必要となっており、ホームページに適した文章や構成、SNSに馴染む記事など各メディアで最適なコンテンツの作成が求められる。引き続き、外部講師による研修により、職員の意識・スキルを高め、情報発信力の強化を図っていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他



**施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成**
**個別事業名： ユニバーサルデザイン庁内推進委員会の実施**  
 (ユニバーサルデザイン担当課)

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 職員がユニバーサルデザインの理念を理解し、区民に対しこころづかいができる職員を育成する。					
【事業概要】 各部・局・室から推薦された1名で構成するユニバーサルデザイン庁内推進委員を対象に、「ユニバーサルデザイン庁内推進委員会」を開催する。					
取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 職員研修等の開催回数(回/年)	目標	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年
	結果		4回/年	4回/年	
② 研修会等のアンケートにおいて「今後の業務で活かしていく」と回答した参加者の割合(%)	目標	80%	80%	80%	80%
	結果		80%以上	78%	

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン庁内推進委員会(委員19名)を4回実施した(ガイダンス、各種疑似体験、障がい者との意見交換、庁内の課題解決の検討)。</li> <li>体験方法の追加や、委員のアンケート結果をもとに、実施内容を再検討するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部の庁内推進委員会(第1回及び第4回)を書面開催にて行った。</li> </ul> 実施回数 4回/年 割合 78%	<ul style="list-style-type: none"> <li>疑似体験や障がい者との意見交換などを通じ、ユニバーサルデザインの視点で庁内の課題を確認した。また、庁内外におけるユニバーサルデザイン等を用いて実施される好事例について、提案いただき、様々な好事例を収集することができた。</li> <li>体験した際に得た経験や新たな視点により、委員の意識の変化につながった。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
新型コロナウイルス感染拡大の状況において、通常の方法で開催できない場合の対応方法について、試行錯誤を繰り返しながら、庁内推進委員の各所属での業務に支障をきたさない委員会の運営方法(書面開催や委員会資料のデジタル化)の方向性を定めることができた。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

シティプロモーション課で行なっている、チラシ作成や写真等の外部研修について評価できるが、例えば、区の常駐の優秀な人材による研修も、メリットがあると思うので比較検討してほしい。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>広報物、印刷物等についての UD の推進は技術的側面も大きいものの、どのような情報を・誰に・どのように伝えたいのかという「情報発信のねらい」の意識化にもつながっていると考えます。ねらいに基づいて政策を実行し、その効果をあらかじめ設定した／新たに見出されたインジゲーターに即して測り、政策のアップデートにつなげていくことは基本的な態度として共有されたいことがらであり、そのような姿勢の醸成にも間接的に寄与しているものと考えます。</p> <p>※インジゲーター 何らかの状態や状況を示す目印や信号のことである。ここでは、対象の状態を知る手がかりとなる指標などを指す。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

**柱立て** 思いやりある『ひとづくり』

**施策群** 幼少期からユニバーサルデザインの理念に触れる

**施策** 1-(2)-①

## 児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進

### 施策の個別事業

- 1 パラリンピアンによる講演会・障がい者スポーツ体験会の実施  
(政策経営課) . . . P40
- 2 ユニバーサルデザイン出張講座の実施 (ユニバーサルデザイン担当課) . . . . . P42

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価 . . . . . P44

**施策： 児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進**

**個別事業名： パラリンピアンによる講演会・障がい者スポーツ体験会の実施（政策経営課）**

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p><b>【目的】</b> パラリンピアンによる講演会や体験会、都立特別支援学校との交流等を通じ、障がい者の理解を進めるとともに、子どもたちの自己肯定感を向上する。</p> <p><b>【事業概要】</b> オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC*NSF)と連携し、花畑地域の小・中学校と都立特別支援学校において、オランダのパラリンピアンや障がい者スポーツ指導者の講演会、体験会等を実施する。※2021年で連携事業終了。</p>					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 講演会・体験会等の開催回数 (回/年)	目標	10回/年	11回/年	11回/年	—
	結果		事業中止	事業中止	
② 講演会等のアンケートにおいて 「障がい者とスポーツを楽しみたい」と回答した参加者の割合(%)	目標	90%	90%	90%	—
	結果		事業中止	事業中止	

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC*NSF)との連携協定を2021年まで延長したが、新型コロナウイルス感染症のため予定していた交流は全て中止</p> <p>■花畑地域の小学校5校、中学校3校、特別支援学校2校のオランダ交流</p> <p>①花畑中学校生徒会のオンライン交流</p> <p>②学校競技観戦、パブリックビューイングは中止</p>	<p>オランダアスリートとの直接の交流は中止となったが、新型コロナウイルス感染症のなか新たな交流の形としてオンラインを活用して交流、障がい者のスポーツを通じた共生社会の醸成について学んだ。</p> <p>また、区とNOC*NSFとは定期的にオンライン会議を実施。障がい者のスポーツ普及に向けた取り組みについて意見交換を実施した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC*NSF)との連携協定は2021年度末で終了した。</p> <p>今後は、オランダ連携事業がきっかけで開始した障がい者の運動・スポーツ相談窓口「あだちスポーツコンシェルジュ」や総合スポーツセンターに開設した「スペシャルライフコート」の活用など、オランダ連携事業のレガシーとして障がい者のスポーツを活用した共生社会の醸成を目指した活動を継続していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進**

個別事業名： ユニバーサルデザイン出張講座の実施  
(ユニバーサルデザイン担当課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 子どものころからユニバーサルデザインの理解を深める。					
【事業概要】 区立小学校の児童を対象に、ユニバーサルデザインに関する出張講座を実施する。					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 出張講座の実施校数 (回/年)	目標	10 校/年	17 校/年	19 校/年	21 校/年
	結果		15 校/年	10 校/年	
② 出張講座のアンケートにおいて「心づかいをしていきたい」と回答した児童・生徒の割合 (%)	目標	90%	90%	90%	90%
	結果		80%	約 80%	

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>実施校数 10校</p> <p>アンケートにおいて「こころづかいをしていきたい」と回答した児童・生徒の割合 約 80.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校10校で、4から6年生26クラスの児童に対して、「みんなでつくろう！ユニバーサルデザインのまち」の出張講座を行った。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した授業の方法を各小学校へ提示し、各学期の学習計画を策定する時期(各長期休み前)に案内を送付した結果、多くの学校から確認の依頼があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童約760名に対して、ユニバーサルデザインのまちづくりに必要な心づかいの重要性を周知することができた。</li> <li>・ 各学校のアンケートでも好評であった。毎年度出張講座を依頼する小学校から口コミで他の学校にも広がり、新規で実施した学校があった。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、児童のリモート授業の状態で開催することがあり、受講の仕方が多様化していると感じた。そのため、事前にリモート授業の児童であっても通常受講している児童と同等に満足感が得られるように実施方法や講座手順を見直す必要がある。</li> <li>・ 講座内容が多く、児童が聞いただけの時間が長いという意見があり、児童の集中力が続くような講座内容を考える必要がある。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： 児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>オリンピックを活用してスポーツという切り口で取り組んだことは大変評価できる。 これを機にスペシャルライフコートも活用しながら、足立区のレガシーとして引き続き取り組んで欲しい。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>



**柱立て** 思いやりある『ひとづくり』

**施策群** 幼少期からユニバーサルデザインの理念に触れる

**施策** 1-(2)-②

## 児童・生徒への国際理解教育の推進

### 施策の個別事業

1 区立小中学校での国際理解教育の実施（地域調整課）・・・・・・・・・・ P46

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P47

**施策： 児童・生徒への国際理解教育の推進**

**個別事業名： 区立小中学校での国際理解教育の実施  
(地域調整課)**

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 異文化理解を促進し、国籍や民族の文化的な違いを認め合い、尊重する多文化共生社会を支える基盤づくりへつなげる。					
【事業概要】 区立小・中学校へ文化交流ボランティア及びJICA(国際協力機構)・JOCA(青年海外協力協会)による臨時講師を派遣し、外国の文化や国際貢献活動を紹介する。					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 臨時講師による講座の実施数 (回/年)	目標	40 講座/年	40 講座/年	30 講座/年	30 講座/年
	結果		事業中止	11 講座/年	
② 出張講座のアンケートにおいて 「心づかいをしていきたい」と回答した児童・生徒の割合(%)	目標	70%	75%	75%	75%
	結果		事業中止	68%	

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症拡大の影響により年度当初からの事業実施ができなかったが、感染状況が落ち着いた令和3年10月頃から事業実施を検討し、12月から1月にかけて、全6校で11講座行い、21クラス・614人の児童が受講した。1月中旬以降は感染症再拡大に伴い、事業を中止した。</li> <li>講座実施後のアンケートにおいて、講座内容に「とても満足(よくわかった)」と回答した児童の割合は68%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初からの事業実施ができなかったため、目標とする講座回数の三分の一程度に留まり、年次計画を達成することができなかった。</li> <li>様々なジャンルの講座メニューを用意し、全て学校側の希望通りにメニューを実施したが、アンケートにおける講座満足度は年次計画に若干及ばなかった。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度については、年度当初から事業を実施する方向で各校へ案内を開始し、コロナ禍で思うように事業が実施できなかった分、一人でも多くの児童・生徒に国際理解教育を実施できるよう努める。</li> <li>児童・生徒へのアンケート結果を分析し、講師派遣メニューを充実させ、講座満足度の向上を図る。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価


### 施策名： 児童・生徒への国際理解教育の推進

#### ● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

##### 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

従来のやり方にとらわれずに、区のホールなどでの開催やオンラインでの開催等を検討してほしい。  
 今回、2の評価をしたが、悪い評価と言うより、今後のよりよくなることを期待してつけた辛口評価と考えてほしい。

#### ● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>UD 推進会議には、「UDに関わる政策を評価し、意見をし、施策のPDCAにつなげる」というミッションが課せられています。このため、①実施した施策について実施主体による適切な評価があること、②そのために実施主体において適切な評価項目・指標が設けられていること、が必要です。UD 推進会議は、施策とその成果そのものへの評価やコメントを行います。同時に、PDCA サイクルにつながる評価項目・指標の妥当性についても評価やコメントを行う責務を担っています。</p> <p>この観点から、本施策については①実施内容そのものよりも、②実施内容に対する評価項目・指標の妥当性について、疑問があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 受け手のニーズだけでなく、発信者／提供者主体としての考え</li> <li>2) 評価軸の設定</li> <li>3) それらを基にした施策の実施方法の検討、その妥当性の検証とPDCA サイクルへの道筋の構築</li> </ol> <p>を、推進会議より具申します。</p>	<p style="text-align: center;">☆☆☆☆☆</p>  <p style="text-align: center;">5段階評価の 2点</p>

**柱立て** 思いやりある『ひとづくり』

**施策群** 幼少期からユニバーサルデザインの理念に触れる

**施策** 1-(2)-③

## 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進

### 施策の個別事業

- 1 「足立スタンダード」に基づく学習環境の整備（教育指導課）・・・・・・・・・・ P49
- 2 区立小・中学校の教員を対象にした人権等に関する研修会の実施・・・・・・・・・・  
（教育指導課）・・・・・・・・・・ P50
- 3 区立小・中学校への指導主事による学習環境の点検・指導・・・・・・・・・・  
（教育指導課）・・・・・・・・・・ P51
- 4 特別支援教育におけるICT活用について（支援管理課）・・・・・・・・・・ P52

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P54

## 施策： 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進

### 個別事業名：「足立スタンダード」に基づく学習環境の整備 (教育指導課)

#### ● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】 ユニバーサルデザインを身近に感じられるような学習環境を整える。</p> <p>【事業概要】 区立小・中学校の教員を対象に、「足立スタンダード(※)」に基づき、研修を実施する。</p> <p>※足立スタンダード：「めあてを明確にし、考えて、伝え合い、まとめて、書く授業」を基本とし、プリントやドリルを繰り返し行うだけの授業ではなく、課題を解決する学習過程、ノートづくり及び板書計画を重視した授業。</p>					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 足立スタンダード研修の開催回数 (回/年)	目標	20回/年	20回/年	20回/年	20回/年
	結果		20回/年	20回/年	
② 足立スタンダード研修の参加人数 (人/年)	目標	300人/年	300人/年	300人/年	300人/年
	結果		300人/年	動画配信のため参加人数不明	
③ 研修のアンケートで「足立スタンダードに基づいた授業づくりへの意識が高まった」と回答した参加者の割合(%)	目標	90%	90%	90%	90%
	結果		90%以上	アンケート実施せず	

#### ● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
① 区内小・中学校の4年次教員研修において、「足立スタンダード」についての講義を行い、「足立スタンダード」に基づいた授業を校内で公開やすく、授業に集中しやすい教室等の環境が整備されているか、区立小・中学校へ指導主事が訪問し、点検・指導を行った。	区内小・中学校の4年次教員に対し、研修で理解を深めた成果として、足立スタンダードに基づいた授業公開を校内で行い、若手教員育成の機会とした。また、足立スタンダード事例集において、全教科ICTの活用について取り上げ、誰にでも分かりやすい授業の実践例として紹介することができた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
学校のユニバーサルデザイン化を推進するため、授業におけるICTの効果的な活用を周知し、授業で実践できるようにしていく	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進**

**個別事業名： 区立小・中学校の教員を対象にした人権等に関する研修会の実施（教育指導課）**

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 ユニバーサルデザインを身近に感じられるような学習環境を整える。					
【事業概要】 区立小・中学校の教員を対象に、人権等に関する研修会を実施する。					
取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 人権等に関する研修の開催回数 (回/年)	目標	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年
	結果		3回/年	3回	
② 人権等に関する研修の参加人数 (人/年)	目標	312人/年	312人/年	312人/年	312人/年
	結果		312人/年	349人	
③ 研修アンケートにおいて「学校での実践に活用できる」と回答した参加者の割合(%)	目標	85%	85%	85%	85%
	結果		85%以上	96.9%	

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
区立小・中学校の教員を対象に、人権等に関する研修会を実施した。	『足立区 LGBT ガイドライン』を基に、多様性について教員に理解を図るとともに、学校での対応について共通理解できるようにした。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
学校のユニバーサルデザイン化を推進するため、授業におけるICTの効果的な活用を周知し、授業で実践できるようにしていく	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進**

個別事業名： 区立小・中学校への指導主事による学習環境の点検・指導（教育指導課）

## ● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 ユニバーサルデザインを身近に感じられるような学習環境を整える。					
【事業概要】 だれにでも使いやすく、授業に集中しやすい教室等の環境が整備されているか、区立小・中学校へ指導主事が訪問し、点検・指導を行う。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取り組みに対する指標					
指導主事による点検校数	目標	104校/年	104校/年	104校/年	104校/年
	結果		104校/年	104校/年	

## ● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
誰にでも使いやすく、授業に集中しやすい教室等の環境が整備されているか、区立小・中学校へ指導主事が訪問し、点検・指導を行った。	指導主事による全小学校の学校訪問をとおして、各校の教室環境や学習環境の整備状況の把握を行うとともに、改善が必要な学校に対して指導・助言を行った。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
学校のユニバーサルデザイン化を推進するため、授業におけるICTの効果的な活用を周知し、授業で実践できるようにしていく	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：学習環境におけるユニバーサルデザインの推進**

**個別事業名：特別支援教育におけるICT活用について**  
(支援管理課)

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p><b>【目的】</b></p> <p>特別支援学級におけるユニバーサルデザインの視点を取り入れ、障がいのある児童・生徒の個に応じた分かりやすい授業づくりを推進し、学習意欲や集中力及び自己肯定感の向上を目指す。</p> <p><b>【事業概要】</b></p> <p>区主催による「学校教育におけるユニバーサルデザイン」研修で、ICT関連機器の活用について取り扱うとともに、研修受講を特別支援学級の教員に促していく。</p> <p>教員用タブレット端末や大型提示装置を使用して、写真や文字の視覚提示等による分かりやすい授業を実施する。</p>					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① UDに関する研修の累計人数(人)	目標	累計 29 人	累計 58 人	累計 87 人	累計 116 人
	結果		累計 77 人 ※別途、管理職等の受講あり	累計 77 人 ※別途、管理職等の受講あり	
② UD研修「自己の資質向上に役立った」と回答した割合(%)	目標	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
	結果		100%	95%	
③ 週1回以上タブレットを使用した特別支援学級教員の割合(%)	目標	25%	50%	80%	40% (週2回以上)
	結果		90%	90%	



## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
1 区主催による小中管理職対象研修 ○ 令和3年6月動画配信による実施 ○ 86名が資料アンケートに回答 2 区主催による若手教員対象研修 ○ 令和3年7月(初任者)及び11月(2年次)講義形式による実施 ○ 計280参加 3 タブレット端末や大型提示装置を使用した分かりやすい授業を実施	○ 研修アンケート「研修の内容は、学校経営に活用できるものであった」と答えた管理職の割合90% ○ 研修アンケート「自己の資質向上に役立った」と答えた教員の割合が95% ○ 週1回以上タブレット等を使用した特別支援学級教員の割合90%
実績・効果に対する今後の課題・方針	
○ 令和4年度は、特別支援教室の担当教員にも一人一台タブレット端末が配布されるので、効果的な活用を推進していく。 ○ 実践事例を蓄積及び発信することを通して使用頻度の向上を図る。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

**施策名： 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進**


● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

教育指導課の事業で、LGBTガイドラインの話(多様性について教員に理解を図ると共に、学校での対応について共通理解をできるようにした。)があるが、具体的なことを書いてほしい。

全般的に各課とも、実施結果などについて、もう少し具体的に記載していただけるとわかりやすいです。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>昨年度に引き続き、ICT 活用等による教員のタスク軽減や、児童生徒の学習意欲向上に繋がることを期待します。実施のねらい／結果／評価指標／評価／今後の展望、についての記述が構造化されると評価がしやすいです。</p>	<p>★★★★☆                        5段階評価の                      4点</p>

**柱立て** 思いやりある『ひとづくり』  
**施策群** だれもが互いにつながり支え合える

**施策** 1-(3)-①

## 多様な人々との連携・支援

### 施策の個別事業

- 1 日本語ボランティア教室の支援（地域調整課）・・・・・・・・・・ P56
- 2 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施（スポーツ振興課）・・・・ P57
- 3 高齢者が地域とつながりを保ち続ける社会づくり（地域包括ケア推進課）・・・・ P59
- 4 認知症カフェの実施（地域包括ケア推進課）・・・・・・・・・・ P60
- 5 障がい福祉に関連する研修・講演の実施、講師派遣（障がい福祉課）・・・・ P61

### 施策の評価

- ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P62

**施策： 多様な人々との連携・支援**

**個別事業名： 日本語ボランティア教室の支援（地域調整課）**

**● 施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 外国出身の区民が安心して生活するための基本的な日本語習得を支援する。				
【事業概要】 ① 日本語や日本の生活や習慣を教える日本語ボランティア教室を運営する団体を支援する。 ② 日本語ボランティアのグループや所属しているボランティアの能力向上を支援する。				
計画年度 取組みに対する指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 講座や教室の実施回数 (回/年)	目標 8回/年	8回/年	8回/年	8回/年
	結果 8回/年	8回/年	2回/年	
② 講座や教室の受講人数 (人/年)	目標 30人/年	30人/年	30人/年	30人/年
	結果 30人/年	17人/年	7人/年	

**● 自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>感染状況が落ち着いた令和3年10月頃から日本語ボランティア養成講座の実施を検討し、令和4年1月に講座を開始したが、講座開始直後に感染症が再拡大したため、2回実施したところで残りの講座は中止とした。</p> <p>予定通りの講座開催には至らず、受講人数は7名であった。</p>	<p>感染症拡大の影響により講座を途中で中止したため、年次計画にある実施回数・受講人数ともに達成することができなかった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>日本語ボランティア養成講座については、感染症対策を徹底し、ボランティアの能力向上につながるような講座カリキュラムを検討・実施していく。</p> <p>日本語ボランティア教室は、教室に集まり対面形式で実施されるのが一般的だが、オンラインで授業を実施する教室も新たに増えたため、ボランティア教室代表者連絡会等でオンラインでの取り組みも共有し、これまでの形式に捉われないことと日本語習得の支援を目指していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 多様な人々との連携・支援**

**個別事業名： 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施  
(スポーツ振興課)**

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p><b>【目的】</b> 障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しむ社会の実現に向けて、障がい者のスポーツへの取り組みを支える人材を育成する。</p> <p><b>【事業概要】</b> 障がいごとに必要な配慮や、障がい者を取り巻くスポーツ環境など、障がい者がスポーツに取り組むことをサポートするうえで基礎的な知識を習得することができるよう、「初級障がい者スポーツ指導員(日本障がい者スポーツ協会公認資格)の養成講習会」を実施する。</p>					
取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① スポーツ指導員の養成講習回数 (回/年)	目標	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	結果		1回/年	1回/年	
② スポーツ指導員の修了者数 (回/年)	目標	累計 95 人	累計 115 人	累計 135 人	累計 155 人
	結果		累計 129 人	累計 151 人	
③ 研修アンケートにおいて「障がい者スポーツを支える活動に関わりたい」と回答した参加者の割合(%)	目標	80%	80%	80%	80%
	結果		80%	100%	

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>年度当初に設定したスケジュールに沿って、予定通り講習会を開催した。</p> <p>今年度は22人の受講者が講習会を修了し、累計の修了者数は151人となった。</p> <p>修了者に行ったアンケートにて、全員(100%)が「今後障がい者スポーツを支える活動にかかわりたい」と回答した。</p>	<p>誰もがスポーツを楽しむ社会の実現に向けて、障がい者スポーツを支える人材を育成することができた。</p> <p>講習会では座学のほか、競技用車いすの体験や障がい者とのスポーツ交流などの実技形式の講習を行うことで、受講者が実際の指導について、より具体的なイメージを持てるよう工夫した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>計画に沿って今後も講習会を定期的実施していく。</p> <p>地域のスポーツ関係者や障がい福祉サービス関係者など、障がい者のスポーツ推進の担い手となり得る人材へ講習会への参加を呼び掛けていく。</p> <p>受講修了者を実践活動へ結び付けていくため、講習会の実施にとどまらず、区イベントや事業への協力を積極的に依頼していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 多様な人々との連携・支援**

個別事業名： 高齢者が地域とのつながりを保ち続ける社会づくり  
(地域包括ケア推進課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 高齢者が安心して過ごせる居場所づくりを進める。					
【事業概要】 住民主体の活動を支援する生活支援コーディネーターを配置する。					
取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① コーディネーターの配置人数 (回/年)	目標	5 人/年	30 人/年	30 人/年	30 人/年
	結果		30 人/年	約 30 人/年	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>基幹地域包括支援センター(第1層生活支援コーディネーターの5人)と各地域包括支援センター(第2層生活支援コーディネーター機能の25人相当)との連絡会等を通じて、地域のささえあい活動事例の共有を図った。</p>	<p>各地域包括支援センター(第2層生活支援コーディネーター機能)同士が、連絡会等を通じて、他地域の取り組みを参考に取り入れるなどの相乗効果があった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>コロナ禍の新しい生活様式に対応しながら、生活支援コーディネーターによる支援を通して住民主体のささえあい活動の推進を図り、ニーズに合った通いの場の創出に向けて地域包括支援センターと連携していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：多様な人々との連携・支援**

個別事業名：認知症カフェの実施（地域包括ケア推進課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 高齢者が安心して過ごせる居場所づくりを進める。				
【事業概要】 認知症カフェを実施する。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
認知症カフェの実施回数 (回/年)	目標	300回/年	300回/年	300回/年
	結果	300回/年	184回/年	

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底し、地域包括支援センター25か所で認知症カフェを184回実施し1,612人の参加があった。</p>	<p>コロナ禍の新しい生活様式で、直接人と対面し会話することが少ない状況が続いている。その中で認知症カフェの参加者同士の会話から、高齢者のサロンの見学へ結びつき、認知症高齢者、家族の生活の場が拡大した事例もあった。</p> <p>認知症カフェの目的のひとつである「家族・地域とつながる」ことができた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>認知症カフェは、引き続き、感染対策を実施しつつ、プログラムの工夫で新たな出会い、新たなつながりができる場として開催していく。</p> <p>高齢者をはじめとして、障がい者や支援が必要な方に幅広く、地域全体で連携・支援できる取組みを進めていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他



**施策：多様な人々との連携・支援**

個別事業名：障がい福祉に関連する研修・講演の実施、講師派遣  
(障がい福祉課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 高齢者が安心して過ごせる居場所づくりを進める。					
【事業概要】 一般区民、ボランティア団体等を対象に、また家族会、事業所、学校等で、障がい福祉に関連する研修・講演を実施または講師として協力する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
障がい福祉に関連する研修等の実施回数（回/年）	目標	20回/年	20回/年	20回/年	20回/年
	結果		6回/年	14回/年	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
14回 【内訳】所管実施 1回 講師派遣等 13回	新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、リモートによる講演など、工夫をしながら開催された学習会や研修に講師として参加した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
令和4年度も同様に、感染症対策を適切に実施しながら、啓発研修や講師派遣に積極的に取り組んでいく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名: 多様な人々との連携・支援

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>外国出身者や障がい者、高齢者とそれぞれのニーズに合わせて事業を展開しており、大きな効果を感じられる。</p> <p>参加者から意見を吸い上げて、内容をさらに改善して欲しい。</p> <p>多様性という社会に向けて、今後さらに様々な人々への支援も必要な時期に来ているので、庁内で議論して手法を研究して欲しい。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

**柱立て** 快適にすごせる『くらしづくり』  
**施策群** だれもが安心して生活できる環境を充実させる

**施策** 2-(1)-①

## 多様な人々への移動支援

### 施策の個別事業

- 1 シルバーカー購入費用の一部助成（高齢福祉課）・・・・・・・・・・ P64
- 2 障がい者への様々な移動手段を確保する（障がい福祉課）・・・・・・・・ P65
- 3 施設通所バスの運行（障がい福祉センター）・・・・・・・・・・ P67
- 4 高齢者等が円滑に移動できるための交通手段の提供（交通対策課）・・・・ P68

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・ P69

**施策：多様な人々への移動支援**

個別事業名：シルバーカー購入費用の一部助成（高齢福祉課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】 高齢者が円滑に移動できるようにサービスを提供する。</p> <p>【事業概要】 シルバーカーの購入費用を一部助成する。</p>					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	シルバーカー購入費用助成件数 (件/年)	480 件	390 件 ----- 333 件	390 件 ----- 330 件	390 件

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
令和3年度 年次計画 390 件 実績 330 件/年	目標値には届かなかったものの300件を超える実績(目標に対する達成率85%)であった。高齢者が外出時に、安全で円滑な移動手段として、シルバーカーの購入費用の助成は効果があった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>シルバーカーの購入費用の助成件数は年々減少意向である。介護保険の歩行器レンタルの利用が伸びていることも要因の一つと考えられる。</p> <p>引き続き、高齢者が外出時に安全で円滑な移動ができるようにサービスを提供する。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 多様な人々への移動支援**
**個別事業名： 障がい者への様々な移動手段を確保する  
(障がい福祉課)**
**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】					
障がい者が円滑に移動できるようにサービスを提供する。					
【事業概要】					
① ガイドヘルパーを派遣する。					
② 歩行困難な心身障がい者に福祉タクシー券を交付する。					
③ 障がい者の方が自動車等により外出した場合に、燃料費の一部を助成する。					
④ 身体障がい者が第1種普通自動車運転免許を取得する場合に費用の一部を助成する。					
⑤ 車両の操行装置及び駆動装置の改造に要する費用の一部を助成する。					
計画年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
① ガイドヘルパーの派遣人数 (人/年)	目標	10,510人	10,660人	10,810人	10,960人
	結果		8,500人	9,000人	
② 福祉タクシー券の交付件数	目標	10,200件	10,200件	10,200件	10,200件
	結果		9,431件	9,279件	
③ 障がい者の方が自動車等により 外出した場合に、燃料費の一部 の助成	目標	2,600件	2,600件	2,600件	2,600件
	結果		2,841件	2,807件	
④ 第1種普通自動車運転免許取 得費用の一部の助成件数	目標	9件/年	9件/年	9件/年	9件/年
	結果		13件/年	6件/年	
⑤ 車両の操行装置及び駆動装置 の改造に要する費用の一部の助 成件数	目標	10件/年	10件/年	10件/年	10件/年
	結果		8件/年	2件/年	

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>①9,000人/年(4/20集計時点)                      ②9,279件/年                      ③2,807件/年(4/20集計時点)                      ④ 6件/年                      ⑤ 2件/年(4/20集計時点)</p>	<p>【障がい福祉課】</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えた障がい者もあり、実績は目標を下回ったが、一定の社会参加の促進と、生活範囲の拡大に寄与できた。</p> <p>②障がい者の日常生活の支援及び活動の場の拡大に繋がった。</p> <p>③一般交通機関の利用が困難な障がい者の社会参加の促進を助長した。</p> <p>④第1種普通自動車運転免許を取得する場合に費用の一部を助成した。自動車運転免許取得は、心身障がい者の就労選択範囲の拡大に繋がった。さらに、資格取得は「達成」という自信を植え付けることに寄与した。</p> <p>⑤申請自体が少なかったが、必要な方への支援は実施できた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後も各事業を継続し、障がい者の様々な移動手段を確保することで、障がいの有無にかかわらず、だれもが生活のしづらさを感じずに地域で生活し続けられるよう支援する。</p> <p>また、②・③については、令和4年度に福祉タクシー券交付と自動車燃料費助成を事業統合し、タクシー、燃料ともに助成券を交付する方法に変更した。変更後も障がい者の外出支援に貢献できるよう、助成券の利便性の向上に努める。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：多様な人々への移動支援**

個別事業名：施設通所バスの運行（障がい福祉センター）

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<b>【目的】</b> 障がい者が円滑に移動できるようにサービスを提供する。					
<b>【事業概要】</b> 施設への自主通所が困難な障がい者に対し、通所するための移動手段を確保するため、通所バス（※）を運行し、当該施設への円滑な利用を図る。 ※ 毎年度、利用希望者は、利用開始前に登録書を提出した上で乗車している。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
施設通所バスの登録者数(人/年)	目標	642人	654人	660人	666人
	結果		700人	800人	

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
利用者数 800人/日 運行台数 42台/日 運行日数 240日/年 通所先数 18事業所	通所バスを運行することで、重度障がい者など、自力での移動が困難な障がい者の社会参加・自立生活を支援した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
障がい者の高齢化・重度化、医療的ケア、通所先事業所の増設など移動支援の需要は増していくと考えられるため、引き続き安心、安全な運行を徹底し、利用者の社会参加、自立生活の促進を図る。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 多様な人々への移動支援**

**個別事業名： 高齢者等が円滑に移動できるための交通手段の提供  
(交通対策課)**

**● 施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 高齢者等が円滑に移動できるための交通手段を提供する。				
【事業概要】 ① 地域やバス事業者と交通不便地域へのバス路線の導入を行う。 ② 地域やバス事業者と交通不便地域への乗合タクシー等バス以外の交通手段の導入を行う。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
① バス路線の導入検討の進捗状況	目標 運行計画 (検討)	(作成)	検証運行	運行後の検証
	結果	実施した	実施した	
② バス以外の交通手段を導入検討の進捗状況	目標	導入地区選定	運行計画 (検討)	(作成)
	結果	実施した	実施した	

**● 自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>花畑周辺地域におけるバス路線導入に向け、令和3年10月から社会実験バスの運行を開始した。また、歩道幅員の広い「元淵江公園」バス停にベンチと視覚障害者誘導用シートの設置を行った。</p> <p>バス以外の交通手段導入については、過去のアンケートで不便感の強い地域とされた入谷・鹿浜地区の課題や需要を把握するところから着手した。</p>	<p>地域の实情に詳しい町会長や医療・商業・高齢者・学校関連団体の方、バス事業者で構成される検討会において、高齢者等移動の困難な方の意見も反映された運行経路等設定し、社会実験バスの運行を開始することができた。</p> <p>まずは、バス以外の交通手段を検討していく入谷・鹿浜両地区の町会・自治会関係者からヒアリングを実施し、意見交換することができた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>令和3年10月から社会実験バスの運行を開始した。今後はバスの本格運行ができるよう、地域公共交通会議等を開催し、利用促進等を協議していく。</p> <p>また、バス以外の交通手段導入については、令和4年度に地域から挙げられた課題や需要を整理していく予定である。バス路線導入と合わせて、交通不便地域の解消を図り、多様な人々への移動支援に引き続き努めていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他



## 施策の評価


### 施策名： 多様な人々への移動支援

#### ●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

##### 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

#### ●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>移動については公共交通だけでは限界に来ており、庁内全体で課題を共有して取り組んでいく必要がある。</p> <p>現状では、各所管で工夫を凝らして事業を実施しており、確実に成果あがっている。それぞれの事業をさらに使いやすくし、拡充にも取り組んで欲しい。</p> <p>困っている方々の声を聴いて新たな施策にも取り組んで欲しい。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

**柱立て** 快適にすごせる『くらしづくり』

**施策群** だれもが安心して生活できる環境を充実させる

**施策** 2-(1)-②

## 多様な人々へのコミュニケーション支援

### 施策の個別事業

- 1 外国人相談の充実（地域調整課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P71
- 2 聴覚障がい者に対してコミュニケーション手段を支援（障がい福祉課）・・・ P72

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P74

**施策：多様な人々へのコミュニケーションの支援**

個別事業名：外国人相談の充実（地域調整課）

## ●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 日本語による会話等が十分でない区民に対し、区役所の行政手続きについて支援を行う。					
【事業概要】 外国人相談員（英語、中国語、韓国語）や通訳ボランティアによる相談や通訳支援を実施する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取り組みに対する指標					
外国人相談の相談件数 (件/年)	目標	2,595 件	2,599 件	2,650 件	2,700 件
	結果		2,499 件	2,033 件	

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
外国人相談員対応：2,033 件 通訳ボランティア対応：195 件 合わせて 2,228 件 対応言語割合：中国 83% 英語 15%、韓国語 2%	コロナ禍の影響により予防接種関連の相談件数が大幅に増加したものの、全体的な相談件数は減少し、年次計画の達成には至らなかった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
外国人相談員や通訳ボランティアによる丁寧な相談対応を継続しつつ、外国人相談の多い所管に導入した通訳タブレットを活用するなど、多様なコミュニケーション手段により外国人支援の充実を図る。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 多様な人々へのコミュニケーションの支援**

個別事業名： 聴覚障がい者に対してコミュニケーション手段を支援  
(障がい福祉課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】 障がい者が円滑にコミュニケーションできるようにサービスを提供する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>① 身体障害者手帳をお持ちの方の就労や日常生活を容易にするため、補装具として補聴器を購入・修理するための費用を支給する。</p> <p>② 携帯型難聴用磁気ループ(※)の貸出を行う。</p> <p>※ 磁気ループ:会議や講演会などの場で、難聴者の聞こえを支援する設備。 ループアンテナ内で誘導磁界を発生させることで、音声磁場をつくり、専用の機器や補聴器等に直接音声をお届けすることができる。</p> <p>③ 聴覚障がい者が手話通訳や要約筆記者を必要とする場合、手話通訳者または要約筆記者を派遣する。</p>					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 補聴器購入・修理のための費用の支給件数 (件/年)	目標	600 件	600 件	600 件	600 件
	結果		428 件	456 件	
② 磁気ループの貸出件数 (件/年)	目標	10 件	10 件	10 件	10 件
	結果		3 件	4 件	
③ 手話通訳者または要約筆記者の派遣件数(件/年)	目標	2,800 件	2,900 件	3,000 件	3,100 件
	結果		1,838 件	2,184 件	

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
① 456 件/年(4/20 集計時点) ② 4 件/年 ③ 2,184 件/年 <b>【内訳】</b> ・手話通訳者派遣 足立区社会福祉協議会 1,496 件 東京手話通訳等派遣センター 573 件 ・要約筆記者派遣 115 件	① 聴覚障がい者に必要な補聴器を給付し、使用してもらうことで、就労支援や日常生活の支援につながった。支給件数は年次計画を下回っているが、申請に基づき給付することができた。 ②③ 新型コロナウイルス感染症の影響により、件数は少なかったが、コミュニケーションや情報を得るための支援を行うことで、聴覚障がい者等の社会参加の促進に寄与できた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
① 今後も補聴器を必要とする聴覚障がい者に、適切に給付していく。 ② 携帯型ヒアリングループ(難聴用磁気ループ)について、聞こえにくい高齢者への需要の増加が見込まれることから、障がい者だけでなく、高齢者関連施設や団体、高齢者等が目にする媒体への周知を継続的に行い、一層の普及を図る。 ※計画では、「携帯型難聴用磁気ループ」と記載しているが、令和2年度中に「携帯型ヒアリングループ(難聴用磁気ループ)」に標記を統一している。 ③ 手話通訳等派遣事業の他、障がい福祉課(本庁舎)窓口における、遠隔手話通訳サービスの活用や手話相談の拡充(回数を週1回から週2回に変更)により、聴覚障がい者等へのコミュニケーション支援を引き続き推進する。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他


施策の評価

施策名： 多様な人々へのコミュニケーション支援

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】
<p>地域調整課が行っている、区役所の窓口での通訳ボランティアによる相談や通訳支援は、目標には届かなかったが件数も多く、すばらしいと感じる。 障がい福祉課が区役所で行っている手話相談等について、毎日ではないため、行く日が限られてしまつて困るという声を直接聞くことがある。</p>

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>部課によって温度差があるように思った。 障がい福祉課については、いくぶんかの疑問点があった。手話は、必ずいつもいるのではなく、行く日が制限されることについては、現状把握と改善に向けて、どの程度どこにこうした情報サービスが必要かを今一度精査されたい。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

**柱立て** 快適にすごせる『くらしづくり』

**施策群** だれもが暮らしやすい住宅を確保する

**施策** 2-(2)-①

## 住宅の改良支援

### 施策の個別事業

- 1 高齢者に対する住宅改修費用の助成（高齢福祉課）・・・P76
- 2 要支援・要介護認定者の住環境の改善（介護保険課）・・・P77
- 3 重度障がい者向け住宅改良事業（障がい福祉課）・・・P78
- 4 段差解消等の住宅改良助成制度（建築防災課）・・・P79

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P80

**施策：住宅の改良支援**

個別事業名： 高齢者に対する住宅改修費用の助成（高齢福祉課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが暮らしやすい住宅に居住することを支援する。					
【事業概要】 介護保険で「非該当」と判定された方に、在宅生活が継続できるように便器の洋式化、手すりの設置、段差解消等を行う場合、工事費の一部を助成する。  介護保険で「要支援」または「要介護」と認定された方のうち、介護保険での住宅改修を一定の額以上使用している方に、浴槽の取り替え及び便器の洋式化工事を行う場合、また車いす用の流しまたは洗面台への取り替え工事を行う場合、工事費の一部を助成する。					
取組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 介護保険非該当の住宅改修助成件数（件/年）	目標	47 件	42 件	42 件	42 件
	結果		59 件	46 件	
② 介護認定で要支援・要介護の設備改修助成件数（件/年）	目標	100 件	92 件	92 件	92 件
	結果		88 件	82 件	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
①（予防給付）46 件 6,394,235 円 ②（設備給付）82 件 11,792,258 円 ※上記は 4/20 現在の実績値	コロナ禍で在宅率が高まりつつある中、目標値の95%の達成状況となった。引き続き、高齢者宅の住宅改修を行うことで、安心、安全な在宅生活の継続を支援する。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
本制度の周知を関係機関との連携強化やあだち広報、区ホームページ等を活用して行っていく。また、介護状況にある生活の視点から要件等の見直しを随時検討していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他



**施策：住宅の改良支援**

個別事業名：要支援・要介護認定者の住環境の改善（介護保険課）

## ●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが暮らしやすい住宅に居住することを支援する。				
【事業概要】 介護保険で「要支援」または「要介護」と認定された方に、在宅生活が継続できるように浴槽の取り換え、便器の洋式化、手すりの設置、段差解消等を行う場合、工事費の一部を助成する。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
介護認定で要支援・要介護の住宅改修助成件数(件/年)	目標	2,100 件	2,120 件	2,140 件
	結果	2,080 件	1,889 件	

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
1,999 件 175,262 千円の助成を行った。	住宅改修により、要介護・要支援認定者の生活環境を整えることで、在宅でより安全な生活が継続できるようになった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
介護保険制度の改正に留意しながら取り組む。 今後もあだち広報や区のホームページなどを活用して、事業の周知を徹底していきたい。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：住宅の改良支援**

個別事業名： 重度障がい者向け住宅改良事業への支援を行う  
(障がい福祉課)

## ● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが暮らしやすい住宅に居住することを支援する。					
【事業概要】 在宅の重度身体障がい者に対して、居住する自宅家屋の玄関等、住宅設備の改善に要する費用の一部を助成する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
在宅の重度身体障がい者に対する助成件数(件/年)	目標	30 件	30 件	30 件	30 件
	結果		36 件	20 件	

## ● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
20件/年(4/20 集計時点)	住宅設備の改善により、在宅の重度身体障がい者の日常生活の利便性を高めるとともに、自立の促進や介護者の負担軽減につながっている。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
計画的に実施するものではなく、住宅設備の改善に必要な生じた在宅重度身体障がい者の生活を支援する制度であり、引き続き申請に基づき、必要な住宅改修を適宜実施していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 住宅の改良支援**

**個別事業名： 段差解消等の住宅改良助成制度（建築防災課）**

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが暮らしやすい住宅に居住することを支援する。				
【事業概要】 世帯人員の増加に伴う間取りの変更や段差解消等を行う場合に、工事費の一部を助成する。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
65歳未満世帯に対する助成件数 (件/年)	目標	20件	20件	20件
	結果	20件	70件	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
70件、9,229千円の助成を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸建住宅及び共同住宅の専用部</li> <li>浴室段差解消 6件</li> <li>フローリング化9件</li> <li>浅型浴槽設置 6件</li> <li>トイレ洋式化 3件</li> <li>浴室暖房 16件</li> <li>間取り変更 2件</li> <li>耐震ドア設置 0件</li> <li>屋根軽量化 34件</li> <li>手すり 5件</li> <li>・分譲マンションの共用部</li> <li>手すり設置 2件</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
助成制度のPRを積極的に行ない、安全で快適な住まいの確保の推進に努める。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名：住宅の改良支援

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>困っている方には絶対に必要な事業なので、制度の周知に力を入れるべき。 各所管で事業のすみ分けをしているが、横の連携を取って取り残す人が無い様に取り組んで欲しい。</p>	<p>★★★★★  5段階評価の 5点</p>

**柱立て** 快適にすごせる『くらしづくり』  
**施策群** だれもが暮らしやすい住宅を確保する

**施策** 2-(2)-②

## 住宅確保要配慮者への居住支援

### 施策の個別事業

住宅確保要配慮者に対する住宅支援事業（住宅課、地域包括ケア推進課）・・・P82

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P83

**施策：住宅確保要配慮者への居住支援**

## 個別事業名：住宅確保要配慮者に対する住宅支援事業 (住宅課、地域包括ケア推進課)

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住宅環境を支援する。					
【事業概要】 不動産団体の協力を得て、住宅確保要配慮者(※)の希望する条件を備えた民間賃貸住宅をあっせんする。 ※ 住宅確保要配慮者：低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを養育する者その他住宅の確保に特に配慮を要する者。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取り組みに対する指標					
支援制度の利用件数 (件/年)	目標	50件	50件	50件	50件
	結果		55件	※216件	

※ 2021年度より新規事業

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度からはじまった「あだちお部屋さがしサポート事業」を実施した。</li> <li>地域包括ケア推進課と連携を図り、見守り機器の設置など、入居後のサポートを実施した。</li> <li>居住支援協議会を2回実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅あっせん事業では入居が難しかった住宅確保要配慮者の入居率が改善された。</li> <li>庁内関係所管が連携して、取組んだことで関係業界団体との信頼が育まれ、相談数・成約率が伸びた。</li> <li>居住支援協議会にて、様々な意見が得られた。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>入居成約者の約9割は高齢者だが、今後は他の住宅確保要配慮者に対する支援のあり方を検討していく必要がある。</li> <li>入居後の見守り機器設置などを行っているが、他のサポート方策についても検討が必要である。</li> <li>居住支援協議会での意見を踏まえた今後の取り組み方針。 <ol style="list-style-type: none"> <li>窓口で使用する簡易アンケートの作成</li> <li>昨年度の実績を基にしたマニュアルの作成</li> <li>家主向けチラシの作成</li> </ol> </li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価


## 施策名：住宅確保要配慮者への居住支援

## ●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

## 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

## ●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>新規事業ではあるが、関係者の連携がしっかり取れており一定の成果が上がっている。          要望の強かった事業であり、契約できなかった原因や利用者の声を聞きながら、失敗を怖がらず取り組んで欲しい。</p>	<p>★★★★★            5段階評価の          5点</p>

**柱立て** 快適にすごせる『くらしづくり』  
**施策群** だれもが使いやすい製品を普及させる

**施策** 2-(3)-①

## ユニバーサルデザイン製品の周知啓発

### 施策の個別事業

- 1 区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品の普及を支援する（産業振興課）・・・P85
- 2 ユニバーサルデザイン製品の展示（ユニバーサルデザイン担当課）・・・P86

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P88



**施策： ユニバーサルデザイン製品の周知啓発**

個別事業名： 区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品の普及  
を支援する（産業振興課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 展示会等に出展した製品について、安全・安心に配慮した、だれもが使いやすい製品があることを広く知ってもらおう。					
【事業概要】 足立ブランド(※)で出展する大型見本市や足立ものづくりフェスタ、大型商業施設等での展示販売会に出展する。 ※ 足立ブランド企業は、開発・製造した製品が、安全・安心に配慮した信頼性のある製品となっているかを確認して認定している。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取り組みに対する指標					
UD製品の出展件数（件/年）	目標	7 件	8 件	8 件	8 件
	結果		事業中止	6 件	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・足立ものづくりフェスタは、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止</li> <li>・令和4年3月に見本市「機械要素展」に15者が出展した</li> <li>・コロナ禍のため夏休みものづくり体験・工場見学をオンラインで実施した</li> <li>・足立ブランド企業のPRのため「#足立ブランド工場見学」(タブロイド判)を作成。広く区民に周知した 6件/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のため見本市出展を見合わせなど、目標数は達成できなかった</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、大型見本市等の開催中止や来場者の減少がみられる。今後もコロナ禍における製品のPR方法を検討し、イベント会場での見本市出展に限らず、オンラインを活用した商談や製品販売など販路拡大を図っていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： ユニバーサルデザイン製品の周知啓発**

個別事業名： ユニバーサルデザイン製品の展示  
(ユニバーサルデザイン担当課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】</p> <p>ユニバーサルデザインに関連する製品を様々な機会で紹介し、普及する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>① ユニバーサルデザインに関連する製品の展示会を開催する。</p> <p>② ユニバーサルデザインと思われる製品を収集し、貸出しを行う。</p> <p>③ 収集した製品の紹介カードを作成し、ユニバーサルデザインに関するイベント等にあわせて配布する。</p>				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
① ユニバーサルデザイン製品の展示会の開催回数（回/年）	目標	2回	2回	2回
	結果	2回	2回	0回
② ユニバーサルデザイン製品の貸出件数（件/年）	目標	2件	3件	4件
	結果	2件	2件	5件
③ ユニバーサルデザイン製品紹介カードの配布件数(件/年)	目標	100部	110部	120部
	結果	100部	250部	0部

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>① 0回 ② 5件 ③ 0部</p> <p>① 新型コロナウイルス感染状況防止を考慮し令和3年度は未実施 ② 貸し出し件数 5件 貸し出し製品数 43製品 を区外の事業者、区立小学校に貸し出すことができた。 ③ 例年①の実施の中で配布していたが、①が未実施のため、配布していない。</p>	<p>① 新型コロナウイルスの感染状況防止のため未実施 ② 区立小学校だけでなく、区外の事業者への貸出を実施することができ、UD製品貸出の情報の周知が出来ていると感じる。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催方法、展示方法について検討する必要がある。</p> <p>UD出張講座の件数は下がってしまったが、UD製品の貸出件数の割合が高まっているため、現状の周知方法で問題ないと感じる。今後は、出張講座先以外からのUD製品の貸出を希望されるような周知方法を考える必要がある。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： ユニバーサルデザイン製品の周知啓発

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

産業振興課の出展について、UD製品に特化した展示会を企画してほしい。  
 ユニバーサルデザイン担当課で、コロナの影響でUD製品展が実施できなかったとのことだが、収集した、UD製品の紹介カードなどは、別の方法で配布を検討すべきと思う。  
 区内の優れた製品は外に紹介し、区外の優れた製品を、区民及び区内業者に紹介できれば、相乗効果があると思う。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>コロナ禍でやむを得ないとはいえ、達成できなかったものや、未実施が多くあった。                      産業振興課において、認定企業のPRについて安心安全がイコールUDなのかは疑問が残るところである。                      コロナ禍においては、やむを得ず別のアプローチでという所管課の日々熱意と努力はうかがえる。そういう意味ではわかりやすい説明であった。オンライン実施もされているようで困難な状況下においても関係部課の熱意が伝わる。こういう試みも有効かもしれない。今後継続して効果を見きわめてほしい。</p> <p>周知啓発については、足立区というより区内各他区のものも含めた地域ごとに細かな周知・啓発活動もあり得るのではないかと。                      そもそも区内振興が目的とはいえ、もっと攻めの姿勢で取り組んでいただく必要があるのではないかと思います。</p>	<p style="text-align: center;">★★★★☆  </p> <p style="text-align: center;">5段階評価の 3点</p>

**柱立て** 快適にすごせる『くらしづくり』

**施策群** だれもが使いやすい製品を普及させる

**施策** 2-(3)-②

## ユニバーサルデザイン製品の開発支援

### 施策の個別事業

- 1 区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品づくりを促進する（産業振興課）・・・P90

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P91

**施策：ユニバーサルデザイン製品の開発支援成**

個別事業名：区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品づくりを促進する（産業振興課）

## ● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 製品開発者にユニバーサルデザインの考え方を伝えていく。					
【事業概要】 事業者に対し、専門の講師による製品づくりのアドバイスを行うため、「あだち新製品開発講座」を実施する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
あだち新製品開発講座の実施回数 (回/年)	目標	19回	19回	19回	19回
	結果		0回	中止	

## ● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
平成22年から令和2年度までは、自社の強みを活かした新製品開発の方法や、知的財産を中心とした講座を毎年約19回実施していたが、結果として新製品の開発までつながらなかったため、令和3年度は中止し事業全体の見直しを図る期間とした。	講座を実施しなかったため、ユニバーサルデザインについての考え方も周知できなかった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
令和4年度は講座形式を見直し、製品開発からクラウドファンディングを活用した資金調達等、年10回程度の開発支援等を伴走型支援にて実施する。新製品開発に際してはユニバーサルデザイン等にも配慮していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価


### 施策名：ユニバーサルデザイン製品の開発支援

#### ●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

##### 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

ユニバーサルデザイン製品の開発支援という枠で考えれば、ゼロからの商品開発ではなく、成熟企業がプラスアルファの視点で改良開発した方がいいのではないかと思います。また、UD開発商品に、賞金や補助金といった単純にお金を出す方法の方が、いろいろな企業が取り組みやすいのではないかと思います。

#### ●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>とくにコロナ禍の影響を強く受けたのではないかと推察します。</p> <p>講座型からスタートアップには事業の個別対応は具体的にどのような見直しをしたのでしょうか。実施した具体的な記録を見たいと思いました。また講座カリキュラム等を次年度以降は提示していただきたいです。</p> <p>今回は、別紙により講座カリキュラムが提示されたものの、実施している内容の質問について説明を受けました。とはいえ、講座修了後のことはわからないので、ぜひともフォローアップをお願いしたいです。</p> <p>全体の印象としては、部課内の内輪で完結しているという印象でした。このことが総合評価点につながらなかったです。外部に開けた事業であれば、参加したかった事業者は多かったのではないかと思います。</p> <p>スタートアップは、UD製品に関する成熟企業の方がやりやすく、成果も上げられやすいということでしょうか。とすれば、必ずしもスタートアップでなくてもよいのではないかと思います。</p> <p>平均評価点は2.5と厳しかったですが、評価委員からのメッセージを受け取ってくれることを期待して3.0としました。</p>	<p style="text-align: center;">★★★★☆</p> <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">5段階評価の 3点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』

**施策群** だれもが円滑に移動できる環境を整備する

**施策** 3-(1)-①

## 安全な道路環境の整備

### 施策の個別事業

- 1 歩行者系案内サインに関する各種取組み（都市建設課）・・・ P93
- 2 自転車ナビマークの整備（交通対策課）・・・ P95
- 3 歩車道のバリアフリー化工事（道路整備課）・・・ P96
- 4 都市計画道路の整備（道路整備課）・・・ P97

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・ P99



**施策：安全な道路環境の整備**

個別事業名：歩行者系案内サインに関する各種取組み（都市建設課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが安心して移動できる安全な歩行空間を整備する。				
【事業概要】 「足立区歩行者系案内サインマニュアル」に基づき、主要駅から公共施設等までの安全で円滑な移動を支援する歩行者系案内サインを整備する。				
計画年度 取組みに対する指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 案内サイン整備場所	目標	江北駅周辺地区 (計画)	北千住駅周辺 (計画)	
	結果		実施した	実施した
② 案内サイン整備期間	目標		年度内	年度内
	結果		実施した	実施した
③ 案内サイン整備基数	目標	盤面修繕 (整備15基/年)	盤面修繕	新設等10基
	結果		実施した	実施した 10基

3- (1) -① 安全な道路環境の整備

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果		計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと		効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者案内サイン(15基)の板面修繕を実施した。公共施設の改廃等に伴って表示情報の更新を行うとともに、経年劣化した地図面をカラーユニバーサルデザイン認証規格で出力したシートで貼替えた。</li> <li>江北エリアデザイン計画に基づくまちづくりが進む江北地区において、地区を訪れる人々の増加が見込まれるため、歩行者が江北駅等から公共施設等まで円滑に移動できるように歩行者案内サイン(新規9基、板面更新1基)の整備を行った。整備するにあたっては、ユニバーサルデザインに配慮した形状や表示高さとした。</li> </ul>		<p>板面情報の正確性や分かりやすい表示は、利用者が案内サインに期待する重要な役割・機能であるため、引き続き、板面修繕・更新を適宜行っていく。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針		
令和4年度に北綾瀬駅周辺地区において、歩行者案内サインを3基新設することとしている		

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：安全な道路環境の整備**

個別事業名： 自転車ナビマークの整備（交通対策課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが安心して移動できる自転車の通行空間を整備する。				
【事業概要】 自転車走行環境の整備のため、自転車ナビマークを明示する。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
自転車ナビマーク整備場所	目標	綾瀬駅周辺 竹ノ塚駅周辺 の一部	花畑地区 竹ノ塚駅区の 一部	江北地区
	結果		事業中止	花畑地区 竹ノ塚駅周辺 の一部
				竹ノ塚駅周辺 一部

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>令和2年度はコロナの影響により緊急工事以外の工事を中止したため、令和3年度以降の工事計画を修正することとなった。</p> <p>令和3年度は、花畑地区及び竹ノ塚駅西口周辺において自転車ナビマーク約 12,500mを整備した。</p> <p>所轄警察署からの要望により自転車事故のあった都市計画道路に自転車ナビマークを整備した。</p>	<p>自転車ナビマークを整備する事によって、自転車は原則、車道の左側を通行することを常に普及啓発することができるようになった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後も計画的に自転車ナビマークを整備していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：安全な道路環境の整備**

個別事業名：歩車道のバリアフリー化工事（道路整備課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが安心して移動できる安全な道路を整備する。					
【事業概要】 ①安全で使いやすい歩道を整備するために、歩道の拡幅、誘導ブロック等の設置、街きよ(※)の段差解消(マウントアップ→セミフラット)等を実施する。 ※街きよ: 舗装された街路の雨水等が流れ込む排水用の側溝。 ②足立区無電柱化推進計画に基づき、地震等の災害時に倒壊の危険がある電柱を無くし、無電柱化を実施する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取り組みに対する指標					
歩道改修の整備距離	目標	梅島一丁目 谷中二丁目 谷在家一丁目	梅島一丁目 加賀二丁目 580m	江北四丁目 160m	江北四丁目 190m
	結果	688m	一部変更して 実施した	一部変更して 実施した	
無電柱化の整備距離	目標			②680m 江北四丁目	②190m 江北四丁目
	結果			実施した	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>梅田七丁目から梅島一丁目の誘導シートの設置、舗装の改修工事を行った。788m</li> <li>加賀二丁目(東京女子医大通り)歩道拡幅及びセミフラット化工事を行った。302m</li> <li>東京女子医科大学附属足立医療センター外周道路の無電柱化工事を行った。680m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>線的に誘導シートを設置・改修、歩車道ブロックの改修、歩道のセミフラット化を行い、通行の安全性向上を図った。</li> <li>電柱及び架空線が撤去され、防災性の向上に加え、歩行空間が確保された。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度は、梅島一丁目から梅田七丁目歩道部に誘導シートを設置する。</li> <li>江北小学校前の無電柱化整備と江北駅～東京女子医大までの詳細設計を実施する。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：安全な道路環境の整備**

個別事業名：都市計画道路の整備（道路整備課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】				
だれもが安心して移動できる安全な道路を整備する。				
【事業概要】				
①都市計画道路等の用地取得を行う。				
②電線共同溝工事を行う。				
③歩道は、街きよの段差が少ないセミフラット形式とし、誘導ブロック等の設置を実施する。				
車道は、幅員確保が可能な場合には自転車レーンを設ける。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
① 事業の進捗状況	目標	補助第 256 号線 事業認可取得	①補助第 256 号線 用地取得	
	結果		一部用地取得	一部用地取得
② 電線共同溝工事の実施距離	目標	主要区画道② 244m	主要区画道② 歩車道整備 244mの歩道整備工事実施	補助第 138 号線の 2 280m 区画街路 14 号 97m
	結果			区画街路 14 号実施
③ 整備距離	目標		主要区画道② 歩車道整備 244mの歩道整備工事実施	
	結果	六町加平橋 取付道路	114mの舗装工事実施 開通	区画街路 14 号 97m

3- (1) -① 安全な道路環境の整備

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行	
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと	
①補助第 256 号線の一部用地を取得した。 ②区画街路 14 号電線共同溝工事(97m)を実施した。	・補助第 256 号線の用地取得について、6 件 /734.61 m <sup>2</sup> と前年比で件数、面積ともに大きく上回った。 ・共同溝工事の完了により、駅前広場の完成時に向けた駅周辺の安全な道路整備に寄与した。	
実績・効果に対する今後の課題・方針		
今後もユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安全で安心して通行できる都市計画道路等の整備を推進する。		

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価

## 施策名：安全な道路環境の整備

## ●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見


## 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

ナビマーク設置による車道走行が怖くて走れないとの声もある。ナビマークの設置を検討する際には、車道・歩道の広さなども考慮して、自転車が安全に走行できるよう考えてほしい。

ただナビマークを設置するだけでなく、ナビマーク上の駐車違反等について、警察と連携して対応する必要があると思う。

江北駅周辺で、歩行者案内サインを整備したとのことであるが、まだ迷っている人を見かける、設置後の検証もすべきと思う。

## ●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>予算削減や予算凍結を受け入れざるを得ず、一年遅れなどという事業も見られたようである。これは由々しきことではあるが、所管課の責任ではないと思う。次年度以降このようなことにならないように十分な他部署とも日頃のコミュニケーションに努められたい。</p> <p>国の方針による自転車ナビマーク等は順次実施していると思う。子どもが車道しか走れないことに対する懸念の解消にいつそう努めていただきたい。</p> <p>女子医大の前に看板たくさんあることが話題になった。これについてはその評価がどうなったのかはたいへん関心があるところである。</p> <p>ナビマークについては、文京区の場合、車両も止められないということである。つくった後の運用についても、今後評価していきたいと思う。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』  
**施策群** だれもが円滑に移動できる環境を整備する

**施策** 3-(1)-②

## 歩行者空間の確保

### 施策の個別事業

- 1 駅前における放置自転車対策について（交通対策課）・・・・・・・・・・ P101
- 2 歩行者が安心できる道路環境作り（道路公園管理課）・・・・・・・・・・ P102

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P103



### 施策：歩行者空間の確保

個別事業名：駅前における放置自転車対策について（交通対策課）

#### ●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが円滑に移動できるように歩行者空間を確保する。				
【事業概要】 鉄道駅周辺において自転車等放置禁止区域を指定（路面ステッカー等にて掲示）し、自転車駐車場への誘導及び警告・撤去活動等を行い、放置自転車を削減する。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取り組みに対する指標				
自転車の放置率(※) ※放置台数／乗入台数(放置台数＋ 駐輪場内の駐車台数) ※小数点第2位以下切捨て	目標 0.5%以下	0.5%以下	0.5%以下	0.5%以下
	結果 0.5%以下	0.4%	0.5%	0.5%以下

#### ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
区内鉄道各駅で、100～200日、街頭指導員による自転車駐車場への誘導、放置自転車への警告の札付及び撤去活動を行った。	東京都による駅前放置自転車の現況と対策調査の結果、駅前における自転車の放置率は0.5%となった。区部平均5.2%と比較し大幅に少ない数値を記録した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
放置自転車対策業務と自転車駐車場の管理運営業務を一体化した総合自転車対策業務委託を引き続き実施し、より効率的な街頭指導及び撤去活動を目指していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：歩行者空間の確保**

個別事業名：歩行者が安心できる道路環境作り（道路公園管理課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが円滑に移動できるように歩行者空間を確保する。				
【事業概要】 警察と合同でパトロール等を実施し、区道を不法に占有、使用している方々に適正な指導を行う。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
新規苦情受付に対し、 指導を行い解決への方向性を示した割合	目標	80%以上	80%以上	80%以上
	結果	80%以上	77%	80%

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
道路の不法占有、不正使用の苦情に対し、全件1週間以内に現場確認を行い、現地調査、原因者に対する指導を実施した。今年度は前年度繰越件数を含めた312件のうち、80%にあたる251件の苦情に対して、解決、解決へ導くための方向性を示すことができた。	訪問や手紙の投函を継続的に行ったことにより解決に繋がったものと考えられる。  道路の通行障害を解消できたことで、安全な歩行者空間を確保することにつながった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
解決案件を80%以上にするという令和3年度の目標を達成することができた。来年度も引き続き目標を達成するため適切な指導を実施していく。今年度未解決の案件は受付が年度末のものも含まれているが、61件の未解決案件については、令和4年度も引き続き解決に向け対応していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価


## 施策名：歩行者空間の確保

## ●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

## 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

## ●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>施設管理者として必要な事業であり、今後もしっかり取り組んで欲しい。            区民との対応も多いと思うが、ご理解を得ながら丁寧に進めて欲しい。            ICTの活用も検討してください。</p>	<p>★★★★★              5段階評価の            5点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』  
**施策群** だれもが円滑に移動できる環境を整備する

**施策** 3-(1)-③

## 公共交通施設の整備・誘導・支援

### 施策の個別事業

- 1 「足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助要綱」の活用状況（都市建設課）・・・P105
- 2 「はるかぜ」バス停のベンチや点字ブロック等の整備（交通対策課）・・・P106

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P107

**施策： 公共交通施設の整備・誘導・支援**

個別事業名：「足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助要綱」の活用状況（都市建設課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 安心して安全な利用しやすい駅舎の整備を支援する。					
【事業概要】 「足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助金交付要綱」に基づき、 鉄道事業者に補助金を交付する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
ホームドア整備の状況	目標	ホームドア等 設置工事 (東武線北 千住駅 3階ホーム)		鉄道事業者 の整備計画 と要望に合 わせて調整	
	結果		実施した	実施した	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
①区補助金交付要綱に基づき、東武鉄道(株)に補助金を交付し、竹ノ塚駅ほか4駅のUDを推進する支援を実施した。	①竹ノ塚駅は、計画通りホームドアの設置が完了し、供用開始した。また、ほか4駅も予定通り事業が進捗した。 ②区補助金により、鉄道事業者のホームの安全性向上に向けた早期整備の促進に繋がった。
今後の課題・方針	
東武鉄道(株)は、小菅、五反野、梅島、西新井駅のホームドア整備事業を引き続き行う。さらに、令和4年度は、区補助金を活用し、小菅、五反野、梅島駅の補強工事を予定している。 今後も鉄道事業者に対してホームの安全性向上を図るため、区内鉄道駅のホームドアの早期整備を要望するとともに、鉄道事業者の整備計画等に合わせて財政支援を行う。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策：公共交通施設の整備・誘導・支援**

**個別事業名：「はるかぜ」バス停のベンチや点字ブロック等の整備  
(交通対策課)**

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 安心で安全な利用しやすいバス停の利用環境を整備する。					
【事業概要】 整備条件の整っている(※)「はるかぜ」バス停のベンチや点字ブロック等の設置を行う。 ※歩道の幅員が充分確保されており、歩行者の通行を妨げない箇所においてベンチの整備を進め、歩道が整備されているバス停では点字ブロックの整備を進める。ベンチ、点字ブロックとも、バス停の利用者が多い駅周辺や高齢者が多数利用する施設の周辺(福祉施設や病院等)を優先的に整備する。					
計画年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
設置箇所数	目標	26 か所/年	26 か所/年	26 か所/年	26 か所/年
	結果		0 か所/年	38 か所/年	

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
令和4年1月に開院した東京女子医科大学附属足立医療センター前に停車する路線や利用者が多い路線を中心に、ベンチ5箇所、視覚障害者用誘導シート33箇所の整備を行った。	ベンチを設置したことで、年齢を問わずバスを待機される方の負担軽減に貢献した。また、視覚障害者用誘導シートの整備により、視覚障がい者にとって安全なバス利便性の向上に寄与した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
今後もバス事業者と協力しながら、バス停の利用者が多い駅周辺や高齢者が多数利用する施設の周辺(福祉施設や病院等)を優先的に整備し、誰もが安心で安全に利用できるバス停の実現に努めていく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価

## 施策名：公共交通施設の整備・誘導・支援


## ●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

## 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

数年前までは、東武鉄道の各駅にホームドアを付ける見込みが立っていかなかったが、実際に設置する状況になってきた点は良い。

バスの屋根設置については、歩道の幅員とその基準との兼ね合いであることから、歩道を広げて対応するのか、基準を緩める要望をするのか、今後の取り組みに期待したい。

## ●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>公道に取りつける上屋は予定なしということであった。公道ではないが、東京女子医大において実施されていた前例はあることから、バス停の位置の検討を含めて推進する姿勢は見せていただきたいと思う。</p> <p>本項の評価は量的によくはなっているものの、ずっと最近は4である。今年についても5にする理由が見つけにくい。とはいえ、なかなか満点しにくい性格の事業であることは理解しているつもりである。道路所管課等との連携の実績がうかがい知れるようになり、さらにつくったものについては検証してスパイラルアップのシステムができあがったとしたら、評価5は実現すると思う。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』  
**施策群** だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する

**施策** 3-(2)-①

## 公共建築物のユニバーサルデザインの推進

### 施策の個別事業

- 1 本庁舎施設の整備（庁舎管理課・中部地区建設課）・・・P109
- 2 ユニバーサルデザインに配慮した公共建築物を整備する・・・P110  
（中部・東部・西部地区建設課）
- 3 住区センターの案内サインの整備（住区推進課）・・・P112
- 4 大規模改修に伴う図書館内サイン、ピクトグラムの設置（中央図書館）・・・P113

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P114



### 施策： 公共建築物のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 本庁舎施設の整備（庁舎管理課・中部地区建設課）

#### ● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公共建築物を整備する。					
【事業概要】 「足立区公共施設等整備基準」や「公共建築物整備基準のユニバーサルデザインの整備方針・整備基準」を基に、本庁舎施設を整備する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
整備場所・整備内容・整備期間	目標	北館改修 (設計準備)	→ (設計)		(令和5年度 工事予定)
	結果		変更して実施	実施中	

#### ● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
新たに本庁舎北館西出入口前に障がい者用の屋根付き専用駐輪場を整備した。 北館改修は現在設計中	障がい者の方の駐輪がスムーズに行えるようになった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>日常の施設の管理・点検により、施設整備の必要性を検証していく。</p> <p>対象となる工事については、足立区公共施設等整備基準等に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行い、ゆとりある空間づくりを目指すとともに、障がい者団体連合会の意見を極力取り入れることで、すべての人に優しい公共施設を整備していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 公共建築物のユニバーサルデザインの推進**

個別事業名： ユニバーサルデザインに配慮した公共建築物を整備する（中部・東部・西部地区建設課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】</p> <p>だれもが利用しやすい安全で安心な公共建築物を整備する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>「足立区公共施設等整備基準」や「公共建築物整備基準のユニバーサルデザインの整備方針・整備基準」を基に、区が整備する公共建築物を整備する。</p>				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
整備場所	<p>保塚地域学習センター</p> <p>西新井東・西自転車駐車場</p> <p style="text-align: right;">目標</p>	<p>伊興地域学習センター</p> <p>入谷住区センター</p> <p>本木関原住区センター</p> <p>(仮称)六町駅前安全安心ステーション</p>	<p>鹿浜地域学習センター</p> <p>興本住区センター</p> <p>西伊興住区センター</p> <p>勤労福祉会館</p>	<p>千住庁舎</p> <p>西新井区民事務所</p> <p>(仮称)江北健康づくりセンター</p> <p>島根住区センター</p>
	<p style="text-align: right;">結果</p>	<p>伊興地域学習センター</p> <p>入谷住区センター</p> <p>本木関原住区センター</p> <p>西伊興住区センター</p> <p>以上の施設を整備</p>	<p>鹿浜地域学習センター</p> <p>興本住区センター</p> <p>六町安全安心ステーション</p> <p>以上の施設を整備</p>	

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行	
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと	
<p>【鹿浜地域学習センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多機能トイレの整備実施。多目的ベッド・ベビーチェア・オストメイト等の設置。</li> <li>・赤ちゃん休憩室の整備実施。手洗い・おむつ替えシートの設置。</li> <li>・多言語表記総合案内板の整備実施。点字・音声案内誘導装置の設置。</li> </ul> <p>【興本住区センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳コーナーの整備実施。母乳による授乳スペースは間仕切り設置。ベビーベッドの設置。</li> <li>・多機能トイレの整備実施。ベビーチェア・手摺・オストメイト・チェンジングボード・音声案内誘導装置・お緊急呼び出しボタン等の設置。</li> <li>・多言語表記総合案内板の整備実施。点字・音声案内誘導装置等の設置。</li> </ul> <p>【勤労福祉会館：現在建設中】</p> <p>（未定）</p> <p>【六町安全安心ステーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれでもトイレの整備実施。オストメイト・ベビーベッド・手摺・緊急呼び出しボタン等の設置。</li> </ul>	<p>足立区公共施設等整備基準に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備基準を実施し、誰もがより安全に安心して利用しやすい施設となった。</p> <p>特にバリアフリートイレや案内板、段差解消などを行い、健常者の利便性にも配慮し、多数が使いやすい施設とした。</p> <p>また、赤ちゃん休憩室、授乳コーナー及び多機能トイレのベビーチェア設置など、母親の施設利用を容易にするための整備を行い、出産後の母親学級等の区民利用の促進につなげた。</p>	
実績・効果に対する今後の課題・方針		
<p>対象となる工事については、足立区公共施設等整備基準等に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行い、すべての人に優しい公共施設を整備していく。</p>		

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 公共建築物のユニバーサルデザインの推進**

個別事業名： 住区センターの案内サインの整備（住区推進課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公共建築物を整備する。				
【事業概要】 区が整備する公共建築物の案内サインを整備する。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取り組みに対する指標				
案内サインを改修・整備期間		必要に応じて、 随時整備		
目標				
結果		実施した 3施設	実施した 1施設	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
興本住区センターの大規模改修工事に伴い、案内板・館内サインをユニバーサルデザインや多言語(英語・中国語・韓国語)に対応させた。	住区センターに来館する外国人の方に対し、分かりやすい案内をするための体制を整えることができた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
今後も引き続き、施設の大規模改修工事や新築工事等の機会を利用し、ユニバーサルデザインに配慮した案内板や館内サイン等の整備を行う。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 公共建築物のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 大規模改修に伴う図書館内サイン、ピクトグラムの設置  
（中央図書館）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公共建築物を整備する。					
【事業概要】 区が整備する公共建築物の案内サインを整備する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
案内サインを改修・整備期間	目標		必要に応じて、随時整備		
	結果		実施した 3か所	実施した 8か所	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>鹿浜図書館の大規模改修工事に伴い、図書館内の案内サインをピクトグラム表示、多言語表記を実施した。</p> <p>大規模改修期間：令和2年9月1日から 令和3年7月19日まで</p> <p>ピクトグラム化した箇所：7箇所 多言語化箇所：1箇所</p>	<p>案内サインの多言語化やピクトグラム表示の実施により、外国人利用者を含め、だれもが利用しやすい館内環境を整備した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>図書館の大規模改修工事が当面予定されていないため、随時、サービス案内のためのピクトグラム表示を整備していく。</p>	


施策の評価

**施策名： 公共建築物のユニバーサルデザインの推進**

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

<b>【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】</b>
庁舎管理課で、障がい者用駐輪場を整備したというが、ベビーカーなども置けるようにした方が良い。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>事業自体は着々と進められていると思いますが、コロナ禍によって先送りされてしまったものについては、遅れたままにせず、遅れてしまったものを取り戻すようにする計画も策定していただくとよいのですが。</p> <p>毎年申し上げますが、これらの改善については自己点検をお願いしたいと思います。日々の改修に追われていて難しいのかとは思いますが、検証なくしてよいものは生まれません。また過剰なものだった場合お金も人も無駄になります。こうした自己点検評価によるスパイラルアップのシステムができれば、評価は5になると思います。</p> <p>加えて、サイン計画については、利用者からの要求水準が上がり、より多様な人々への対応が望まれるようになりました。区では当初から熱心に取り組まれていて量的には成果が見られますが、その内容が質的には停滞したのではないかと思います。他区の事例も見て、さらなるスパイラルアップを望みます。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』  
**施策群** だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する

**施策** 3-(2)-②

## 区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進

### 施策の個別事業

- 1 ユニバーサルデザインに配慮した学校施設の設計及び整備・・・・・・・・・・ P116  
(中部・東部・西部地区建設課)

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P118

**施策： 区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進**

個別事業名： ユニバーサルデザインに配慮した学校施設の設計及び整備（中部・東部・西部地区建設課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが安心して移動できる安全な歩行空間を整備する。					
【事業概要】 「足立区公共施設等整備基準」に基づき、区立小・中学校を整備する。また、災害発生時の第一次避難所としても、使いやすい施設となるよう配慮する。					
計画年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
整備する学校・整備内容・整備期間	目標	千寿青葉中学校	(工事)		
	結果	(設計・工事)	実施した	完了	
	目標	綾瀬小学校	(工事)		
	結果	(設計)	実施した	完了	
	目標	江北小学校と高野小学校の統合校	(工事)		
	結果	(設計)	実施した	完了	
	目標	北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合校	(設計)	(工事)	
	結果	(設計)	実施した	実施した	
	目標	東綾瀬中学校	(設計)		
	結果	(設計)	実施した	実施した	



●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>【千寿青葉中学校(完了)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリートイレを各階に設置した。</li> <li>・ 校舎へのアプローチ部の段差を無くし、昇降口には自動ドアを設置した。</li> </ul> <p>【綾瀬小学校(完了)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリートイレを各階に設置</li> <li>・ 1・2階のバリアフリートイレにはオスメイトと大人用ベッドの設置</li> <li>・ 校舎へのアプローチ部の段差ゼロ</li> <li>・ 階段は二段手摺、点字・音声案内誘導装置等の設置</li> <li>・ カラーユニバーサルデザイン及び多言語標記総合案内板の設置、昇降口に自動ドアの設置</li> </ul> <p>【江北・高野小学校の統合校(完了)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリートイレについては、各階に1か所以上設置をした。</li> <li>・ 車いす利用者も使用出来るよう、バリアフリーに対応したEVを設置した。</li> </ul> <p>【北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合校(工事)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昇降口等のバリアフリー化、だれでもトイレの設置等を組み込んだ設計を行った。</li> </ul> <p>【東綾瀬中学校(工事)】</p> <p>設計中(未定)</p>	<p>足立区公共施設等整備基準に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備基準を実施し、誰もがより安全に安心して利用しやすい施設となった。</p> <p>特にバリアフリートイレや案内板、段差解消などを行い、健常者の利便性にも配慮し、多数が使いやすい施設とした。</p>
<b>実績・効果に対する今後の課題・方針</b>	
<p>対象となる工事については、足立区公共施設等整備基準等に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行い、すべての人に優しい公共施設を整備していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他


施策の評価

**施策名： 区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進**

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

<b>【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】</b>
<p>インフラの新設の評価については、基準に沿って造るので、評価すると5になるので、評価対象にすべきか疑問である。新設のインフラの評価については、報告のみにするなど、今後検討が必要と思う。</p>

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>基準に沿って整備するのは当然だが、利用者の意見を聞いてさらにブラッシュアップしてください。</p>	<p>★★★★★                        5段階評価の                      5点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』  
**施策群** だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する

**施策** 3-(2)-③

## 区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進

### 施策の個別事業

- 1 保育園利用者の利便性に配慮した施設改修等（子ども施設運営課）・・・P120

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P122

**施策： 区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進**

個別事業名： 保育園利用者の利便性に配慮した施設改修等  
(子ども施設運営課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な保育施設を整備する。</p> <p>【事業概要】 施設修繕や危険箇所<sup>(※)</sup>の改修を行うとともに、トイレ改修をはじめとした、施設のユニバーサルデザイン整備を進める。</p> <p>※園職員からの随時の報告のほか、建築基準法第12条点検などの委託事業者による点検、施設管理者(園長・主管課職員)による年1回の施設総点検で把握する。</p> <p>施設改築等に合わせて、「足立区公共施設等整備基準」等に適合したユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行う。</p>					
計画年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
保育施設の整備状況	目標	トイレ1施設	(工事)		
	結果	(改修設計)	実施した		
	目標		トイレ1施設	(工事)	
	結果		2019年度実施	2020年度実施	
	目標			トイレ1施設	(工事)
	結果			2019年度実施	2020年度実施
	目標				トイレ1施設
	結果				(改修設計)
目標		施設の修繕、危険箇所の改修			
結果					

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和式トイレの洋式便器化</li> <li>・ 外柵改修及び電気錠設置工事</li> <li>・ 電気設備改修工事</li> <li>・ 施設の修繕・改修工事を 198 件実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和式便器を洋式便器化することにより、利用者や職員の足腰にかかる負担を軽減することができた。</li> <li>・ 外柵の高さを嵩上げしたことで、不審者の侵入防止や園児の外柵乗り越えなどの危険を排除することができた。また、通用門を電気錠(オートロック)化したことで、ラッチ錠やかんぬき錠を閉めるという煩わしさから解放され、鍵の閉め忘れを原因とした意図しない園児の飛び出しを防ぐことができるようになった。</li> <li>・ 前年度に設計した内容を踏まえて工事を実施した。暗いと感じている場所への照明器具の増設や使いづらい位置にあったコンセントを移設するなどし、利用者や職員の利便性向上を図ることができた。</li> <li>・ 老朽化したエアコンの更新や床・畳の補修等を行うことで快適な生活環境を提供できたほか、小破修繕を適宜実施することで、施設の安全性・利便性の向上が図れた。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区立保育園・こども園は、施設の老朽化が進んでおり、修繕工事や補修工事の件数が増えてきている。令和4年度中に施設更新計画を作成し、今後の計画的な更新や大規模修繕を行っていく予定である。</li> <li>・ トイレ改修工事は、令和2年度(2020年度)に1件を予定していたところ、前倒して3件実施したため、令和3年度の実施は無しとなった。今後も施設更新計画とのバランスを考えながら、トイレ改修工事を実施していく。</li> <li>・ 現時点ですべての園に洋式便器の大人用トイレが設置されている。和式便器が残っている場所はスペースの問題等で洋式化が困難な場所である。洋式化する方法は無いか事業者と相談するとともに、和式便器が残っている園を優先してトイレ改修を行っていく。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


**施策名： 区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進**

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>残っているのは改修の難しい箇所とのことだが、工夫して前倒しを検討するなどさらにスピードアップに努めてください。</p>	<p>★★★★☆                        5段階評価の                      4点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』  
**施策群** だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する

**施策** 3-(2)-④

## 区営住宅のユニバーサルデザインの推進

### 施策の個別事業

- 1 新田地域における区営住宅の集約建替えについて（住宅課・区営住宅更新担当課）  
・・・・・・・・・・ P124

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P126

**施策： 区営住宅のユニバーサルデザインの推進**

個別事業名： 新田地域における区営住宅の集約建替えについて  
 (住宅課・区営住宅更新担当課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な区営住宅を整備する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>① 「足立区区営住宅等長寿命化計画」に基づき集約建替えを行う。その際は「足立区公共施設等整備基準」を遵守する。</p> <p>② 集約建替え団地において居住者情報交換会を開催し、建替え計画等に関する意見交換を丁寧に行う。</p> <p>③ 集約建替え団地を対象に建替え計画等に関するニュースを発行し、建替え計画等に関する情報提供を行う。</p>					
取り組みに対する指標	計画年度				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
① 建替えの進捗状況	目標	新田地域区営住宅集約建替え	(基本設計)	(実施設計)	(建設工事)
	結果	(仮移転)	実施した	実施した	
② 居住者情報交換会 開催回数	目標	1～2回/年	1～2回/年	1～2回/年	
	結果		中止	実施した	
③ 建替えニュースの発行回数	目標	2回/年	2回/年	2回/年	
	結果		1回/年	2回/年	



## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度に基本設計を進め、令和3年度に実施設計を行った。</li> <li>・ 居住者へアンケート実施して要望を確認し、令和4年1月には新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施して、約2年ぶりに意見交換会を実施した。</li> <li>・ 新田3丁目区営住宅の解体工事を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長寿命化計画に基づき、エレベーターやスロープなどの設置について、実施設計に反映した。</li> <li>・ 居住者からの要望をもとに、玄関への手摺設置を必須とした。</li> <li>・ 住戸内をバリアフリー対応とした。</li> <li>・ 防犯カメラの位置について、居住者の意見を確認しながら、5か所へ設置することとした。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和3年度～4年度にかけて新築工事を行うため、今年度当初には、居住者及び近隣住民に対して、丁寧な説明を行っていく必要がある。</li> <li>・ エレベーターやスロープが未設置の住棟は、集約建替えにより早期に課題を解消していく必要がある。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： 区営住宅のユニバーサルデザインの推進

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>建て替えのスピードアップに努めてください。 住民には丁寧な説明を心がけてください。</p>	<p>★★★★★  5段階評価の 5点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』  
**施策群** だれもが利用しやすい屋外施設等を整備する

**施策** 3-(3)-①

## 区立公園等のユニバーサルデザインの推進

### 施策の個別事業

- 1 区立公園等のユニバーサルデザインの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P128  
(パークイノベーション推進課)

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P130

**施策： 区立公園等のユニバーサルデザインの推進**

個別事業名： 区立公園等のユニバーサルデザインの推進  
(パークイノベーション推進課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公園等を整備する。</p> <p>【事業概要】 「パークイノベーション推進計画」に基づき、公園等を改修・新設工事を行っている。 公園改修等に当たっては、利用者アンケートや公園活用推進連絡会を開催するなど、身障者や高齢者等の意見を聞きながら、利用しやすい公園の整備方法や管理方法を検討する。</p>					
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
取組みに対する指標					
整備する公園・整備箇所数・整備内容	目標	公園 9 か所 (工事)			
	結果				
	目標	公園 6 か所 (設計)	(工事) →		
	結果		実施した		
	目標		公園 8 か所 (設計)	(工事) →	
	結果			実施した	
	目標			公園 9 か所 (設計)	(工事) →
	結果				実施した
	目標				公園 11 か所 (設計)
	結果				

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2公園でオストメイト対応のバリアフリートイレの新築、2公園で洋便器化を実施した。</li> <li>・ 7公園で出入口の段差解消、点字ブロックの整備及び6公園でトイレへの点字誘導ブロックの設置を実施した。</li> <li>・ 5公園でイラスト案内板を設置した。</li> <li>・ Eメールを活用した意見募集を行い、若年層を含む幅広い層から意見集約が行えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚障がい者、高齢者等への利便性・安全性の向上が図られた。</li> <li>・ 利用者要望の多い洋便器化が進んだ。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園改修時の遊具選定にあたっては、可能な箇所へのインクルーシブ遊具の設置を検討していく。</li> <li>・ 計画時及び完成後に公園利用者への聞き取り調査や意向確認等を実施して、誰もが利用しやすい地域に愛される公園改修に努めていく。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


**施策名： 区立公園等のユニバーサルデザインの推進**

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>様々な人にしっかり意見を聞いて、使いやすい公園を目指してください。 特性により相反する意見等もありますが、よく話し合っ て誰もが納得できるように努めてください。</p>	<p>★★★★★                        5段階評価の 5点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』  
**施策群** だれもが利用しやすい屋外施設等を整備する

**施策** 3-(3)-②

## 公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進

### 施策の個別事業

1 公共自転車駐車場の整備（交通対策課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P132

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P133

**施策： 公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進**

個別事業名： 公共自転車駐車場の整備（交通対策課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な自転車駐車場等を整備する。					
【事業概要】 「足立区公共施設等整備基準」に基づき、老朽化した自転車駐車場等の改修に合わせ検討し整備する。					
計画年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
整備場所・整備内容・整備期間	目標	北綾瀬北自転車駐車場(工事)		老朽化調査の結果に沿って実施	
	結果		実施した	実施した	
	目標	西新井東・西自転車駐車場(工事)			
	結果				
	目標	サイクルパーク綾瀬自転車駐車場(改修設計)	(改修工事)		
	結果		実施した		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>キャンセル待ちがある江北駅西第2自転車駐車場を改修し、21台分の駐輪スペースを拡張した(108台⇒129台)。</p> <p>防犯カメラを増設し、より防犯性の高い自転車駐車場とした。</p>	<p>拡張し自転車ラックは、子ども乗せ自転車対応の自転車ラックとした。</p> <p>また、平置きスペースを確保することにより、多様な自転車の利用も可能となった。</p> <p>今回整備した自転車駐車場は、利用規約や注意喚起看板等の多言語化を実施した。</p> <p>子乗せ自転車対応の自転車ラックについて一部採用した。</p> <p>また、多様な自転車が利用できるように平置きの駐車スペースを確保した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後も、老朽化し自転車駐車場の改修に合わせて、多様な自転車が利用可能な自転車駐車場として整備していく。</p>	



【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他


## 施策名： 公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進

### ● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

#### 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

### ● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>計画に沿って進めるだけでなく、計画外であっても利用者の意見をよく聞いて、できることはやるよう心がけてください。</p>	<p>★★★★★                        5段階評価の                      5点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』

**施策群** だれもが利用しやすい施設等の整備を誘導・支援する

**施策** 3-(3)-③

## イベント会場等のユニバーサルデザインの推進

### 施策の個別事業

- 1 イベントで使用するパネル等の作成や会場のレイアウト支援  
(シティプロモーション課)・・・P135

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・P136

**施策： イベント会場等のユニバーサルデザインの推進**

個別事業名： イベントで使用するパネル等の作成や会場のレイアウト支援（シティプロモーション課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心なイベント会場等を設営する。				
【事業概要】 会場レイアウトや案内サインの相談・アドバイスを実施する。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
相談・アドバイスに対応した割合	目標 100%	100%	100%	100%
	結果 会場整備に関するポイント周知	100%	100%	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>各所管課がイベントやパネル展などをする際の、レイアウトや看板、パネル等の作成を支援した。 対応した割合：100%</li> <li>展示ブースの設営に立ち会い、現場でレイアウトのアドバイスを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談やイベントブースの作り方のマニュアル等を通じて、来場者の立場に立ったイベントブースの作り方が庁内に定着しつつある。</li> <li>常駐デザイナーがいることで、迅速かつ高度なアドバイスが可能となった。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、相談やアドバイスを通じて、会場レイアウトや「わかりやすい」「伝わりやすい」案内サインの制作やデザインの統一性などを意識した支援を行っていく。</li> <li>5大イベントの前には掲示板等でイベントブースの作り方マニュアルを掲示し、周知を図る。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： イベント会場等のユニバーサルデザインの推進

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>イベントにおいても求められる水準は上がっており、他の事例の研究などを怠らず、誰もが参加しやすいイベントを心がけてください。</p>	<p>★★★★★  5段階評価の 5点</p>

**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』

**施策群** だれもが利用しやすい施設等の整備を誘導・支援する

**施策** 3-(4)-①

## 国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導

### 施策の個別事業

- 1 都立中川公園整備の検討（都市建設課）・・・・・・・・・・ P138
- 2 「公共施設等整備基準 事前協議」の実施（都市建設課）・・・・・・・・ P139

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P140

**施策： 国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導**

**個別事業名： 都立中川公園整備の検討（都市建設課）**

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な道路や公園等を整備する。					
【事業概要】					
① 都立中川公園の整備に関して、「中川公園整備検討協議会」での住民の意見を反映できるように東京都と協議を行う。					
② 国や都の都市計画道路整備事業の際に、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(通称:バリアフリー新法)」や「移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令(通称:道路移動等円滑化基準)」に基づく道路の整備を進めるよう、協議の場を通じて依頼する。					
計画年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
① 協議回数(中川公園)	目標	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
	結果		1回/年	1回/年	
② 協議回数(東京都第六建設事務所)	目標	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	結果		1回/年	1回/年	

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
① 令和3年11月に協議会を開催した。 年2回の開催予定だったが、コロナ禍のため1回の開催となった。 ② 令和3年8月に東京都第六建設事務所と行政事務連絡会を書面にて開催した。	① 中川公園の整備について、ユニバーサルデザインの視点からの意見を東京都に伝えた。 ② ユニバーサルデザインの視点からの施設整備・改良等をお願いした。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、国や都にユニバーサルデザイン視点での施設の整備・改良等をお願いしていく。</li> <li>中川公園の覆蓋化工事について、スケジュールが示された。長期的視点での造成工事や短期的視点で既設部分の改修工事など、機会あるごとに地域の意見を伝えることで、ユニバーサルデザインの視点で整備が進むよう要望していく。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導**

個別事業名：「公共施設等整備基準 事前協議」の実施  
(都市建設課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公共施設等を整備する。				
【事業概要】 「足立区公共施設等整備基準」や「公共建築物整備基準のユニバーサルデザインの整備方針・整備基準」を基に、整備前及び完成後に「ユニバーサルデザイン導入チェックリスト」による総合的な協議・指導を行う。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
「ユニバーサルデザイン導入チェックリスト」に適合している割合	目標	90%以上	90%以上	90%以上
	結果	90%以上	91%	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設整備の事前協議において、整備内容を精査し、障がい福祉課と協議するように指導した。</li> <li>事前協議の際に「ユニバーサルデザイン導入チェックリスト」の移動空間、行為空間、視覚情報、触知情報や音声情報等の基準を遵守するように指導し、庁内連携して施設整備を行った。</li> </ul> <p>※令和3年度事前協議数件数…35件 ユニバーサルデザイン導入チェックリスト 適合率91%</p>	<p>学校、区民事務所、住区センター、都営住宅等各施設において、高齢者や障がい者等のだれもが利用しやすい施設整備を指導することができた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後とも、「ユニバーサルデザイン導入チェックリスト」に基づき、高齢者や障がい者等だれもが利用しやすい施設整備につながるように、関係各課と連携しながら工事担当部局と協議を行っていく</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： 国や都等が整備する公共施設等の  
ユニバーサルデザインの誘導

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>設計時から区がしっかり関わられるよう努めてください。 利用者からの意見を伝える場を設けるよう努めてください。</p>	<p>★★★★☆                        5段階評価の 4点</p>



**柱立て** 便利に生活できる『まちづくり』

**施策群** だれもが利用しやすい施設等の整備を誘導・支援する

**施策** 3-(4)-②

## 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導

### 施策の個別事業

- 1 ユニバーサルデザインに考慮した民間施設の整備を促進する（障がい福祉課）・・・P142
- 2 小規模事業者経営改善補助金の活用（産業振興課）・・・・・・・・・・P143
- 3 大規模店舗等のユニバーサルデザインの推進（開発指導課）・・・・・・・・・・P144

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・P145

**施策： 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導**

個別事業名： ユニバーサルデザインに配慮した民間施設の整備を促進する（障がい福祉課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な民間建築物を整備する。					
【事業概要】 「東京都福祉のまちづくり条例」に基づき、窓口指導を行う。 「東京都福祉のまちづくり条例」に定める整備基準を満たした上で、それに加えて必要となる、店舗等内部における整備の考え方を中心にまとめた「店舗等内部のユニバーサルデザイン整備ガイドライン」の普及促進を図る。					
計画年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
「東京都福祉のまちづくり条例」に基づく届出件数	目標	50 件/年	50 件/年	50 件/年	50 件/年
	結果		52 件/年	46 件/年	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
46 件/年	<p>特定都市施設の新設・改修時に「東京都福祉のまちづくり条例」の整備基準適合の届出を受理し、整備についての指導・助言を行うことで、ユニバーサルデザインに配慮した整備を図ることができた。</p> <p>上記届出の事前相談時に、施設整備の参考として「店舗等内部のユニバーサルデザイン整備ガイドライン」の内容を紹介し、店舗等のユニバーサルデザイン整備推進に寄与することができた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
引き続き、「東京都福祉のまちづくり条例」の届出対象となる民間施設の新設・改修の事前相談、届出の際に、整備基準に適合した整備を行うように指導・助言を行いながら、ユニバーサルデザインにも配慮した民間施設の整備を促進していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導**

個別事業名： 小規模事業者経営改善補助金の活用（産業振興課）

**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<b>【目的】</b> だれもが利用しやすい安全で安心な民間建築物を整備する。					
<b>【事業概要】</b> 地域経済の活性化や利便性の向上のため、小規模事業者(※)に対して店舗改修費用の補助を行う。 ※ 中小企業基本法に既定する従業員 5 人以下の商業・サービス業または従業員 20 人以下の製造業を「小規模事業者」と設定した。					
計画年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
補助件数(点/年)	目標	10 件/年	11 件/年	11 件/年	11 件/年
	結果		18 件/年	18 件/年	

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
区内中小企業に対し店舗改修のための経費補助及び経営改善計画の作成支援を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 店舗改修費補助数：18件</li> <li>・ うち顧客に配慮した改修等：11件</li> </ul>	新規顧客の獲得や店舗利用の満足度向上による経営改善を目的として、トイレや看板、ショーケース、内装等の改修費用を補助。顧客が利用しやすい店舗を目指した経営改善計画の作成など効果的な支援を実施した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
中小企業の経営改善策の一つとして、申請者に対しユニバーサルデザインに配慮した店舗改修等を引き続き支援していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導**

**個別事業名： 大規模店舗等のユニバーサルデザインの推進  
(開発指導課)**

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な民間建築物を整備する。					
【事業概要】 「足立区環境整備基準」に基づくユニバーサルデザインによる施設整備基準による協議・指導を行う。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
建設事業の協議件数(件/年)	目標	25 件/年	25 件/年	25 件/年	25 件/年
	結果		12 件/年	20 件/年	

● **自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業者と事前協議を行う際には、ユニバーサルデザインによる施設整備の基準にもとづいて、全ての人々が安全かつ円滑に移動できること、また、だれもが利用しやすいこと等を考慮した施設整備に努めるよう指導・助言を行った。</li> </ul> <p>※令和3年度の事前協議件数：20件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模店舗や公共的建築物等の建設を予定している多くの事業者と協議が整い、バリアフリー型トイレの設置等を計画に盛り込んでもらう事が出来た。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後とも、ユニバーサルデザインによる施設整備の基準にもとづき、事業者と事前協議する機会を捉えて、だれもが利用しやすい施設整備に努めるよう、指導・助言を行っていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価

### 施策名： 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導


#### ● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

##### 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

民間建築物のユニバーサルデザインの誘導について、補助金については小規模事業者だけではなく多くの人が良く利用する大規模事業者に行った方が良い。

2階建てのファミレスなどは、下が駐車場で上に行く必要がある、エレベーター設置を促す仕組みを作ってほしい。

#### ● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>設備等導入費補助については、小規模事業者のみとなっています。大規模の方が目立つうえに、建築環境もアプローチもしやすいと考えられます。小規模施設に限らなくてもよいのではないかと思います。</p> <p>例として、2階建てのファミリーレストランは、数も利用頻度も多い割には状況が全く変わりません。オーナーが替わるとはいえ、利用者側から見ればなんとかならないのかという気持ちが高まっています。こういう場合にも補助金を使えるようにすることを検討されてはどうでしょうか。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

**柱立て** みんなに役立つ『しくみづくり』  
**施策群** 参加しやすい開かれた区政を運営する

**施策** 4-(1)-①

## ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理

### 施策の個別事業

- 1 ユニバーサルデザイン推進会議の実施（ユニバーサルデザイン担当課）・・・P147

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P149

**施策： ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理**

**個別事業名： ユニバーサルデザイン推進会議の実施**  
(ユニバーサルデザイン担当課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画

【目的】

ユニバーサルデザインを推進する事業をスパイラルアップさせる。

【事業概要】

「足立区ユニバーサルデザイン推進計画」に位置づけられた事業の進捗管理や前年度事業の評価、計画の修正検討を行うため、①「足立区ユニバーサルデザイン推進会議」、②「評価部会」及び③担当所管と事業に関する調整等を行い、事業に反映させる。

取組みに対する指標	計画年度			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 「推進会議」の実施回数 (回/年)	目標	3回	3回	3回
	結果	3回	3回	3回
② 「評価部会」の実施回数 (回/年)	目標	3回	3回	3回
	結果	3回	3回	3回
③ 各事業の関係所管との調整回数 (回/年)	目標	5回	5回	5回
	結果	5回	15回	15回

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>各会議の実施回数            推進会議 3回            評価部会 3回            調整回数 15回            (オンライン会議等を用いた調整回数含む)</p> <p>ユニバーサルデザイン推進計画の実施予定事業の評価について、協議を行い、策定中のバリアフリー地区別計画について連絡、報告を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザイン推進会議、評価部会の開催を通じて、より高いユニバーサルデザイン事業を推進するための様々な知見や知識を共有することで、より区のユニバーサルデザインに関する事業や施策について、社会状況を踏まえてより実現可能性の高い施策等の検討を行うことができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、通常開催とWebの併用開催を行った。</li> <li>・令和2年度からWeb会議を実施していたため、令和3年度では、併用開催でも、会議進行に不備なく実施した。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、これまでも検討していた評価部会の実施方法や評価指標に加え、新しい生活様式などの要素を取り入れた検討も必要であり、進めていく。</li> <li>・委員の方々から、評価部会開催前の事前評価の資料が分かりにくいこともあり、令和4年度は評価の行いやすい資料作成を考えている。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他



## 施策の評価

## 施策名：ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理


## ●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

## 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

ユニバーサルデザイン推進計画が出来てから 10 年位経つ、令和2年に改定しているが、見直しが必要かも知れない。

ユニバーサルデザインは、複数の所管が絡むことが多い、例えば「大規模店舗のバリアフリー化に、カラーユニバーサルデザインを絡める」などを考慮・検討してほしい。

## ●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>各種施策が充実し、それらも今日の課題に応じてアップデートが必要となっている。あるいは、すでに対応が図られているものもある。総元締めとして、今一度ユニバーサルデザイン推進の枠組みや適切な効果測定、反映のあり方等について検討されたい。</p>	<p>★★★★☆              5段階評価の            4点</p>

**柱立て** みんなに役立つ『しくみづくり』

**施策群** 参加しやすい開かれた区政を運営する

**施策** 4-(1)-②

## 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

### 施策の個別事業

- 1 パブリックコメントの実施（政策経営課）・・・・・・・・・・ P151
- 2 審議会委員等の公募制の推進（政策経営課）・・・・・・・・・・ P153
- 3 審議会等の女性比率向上の取組みについて（多様性社会推進課）・・・・・・・・ P155
- 4 「区民の声」のサービスアップの取組み（区民の声相談課）・・・・・・・・ P156
- 5 道路、公園、施設及び通学路の点検  
（学務課、ユニバーサルデザイン担当課）・・・・・・・・ P157

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P159

**施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実**

**個別事業名： パブリックコメントの実施（政策経営課）**

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 区政の重要な政策や計画に区民の意見を取り入れる。					
【事業概要】 「足立区パブリックコメント実施要綱」及び「足立区パブリックコメント活用マニュアル」に基づき、庁内の該当案件をまとめ、広報等で周知することにより、重要な政策及び計画の策定について区民が意見等を述べる機会を設け、それに対する区の考え方を公表する。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
「あだち広報」掲載回数（回/年）	目標	12回	12回	12回	12回
	結果		12回	8回	

● **自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あだち広報掲載については 8 回実施した。毎月（12 回/年）掲載できるように準備をしていたが、4 月、1 月から 3 月はパブリックコメントの案件がなかった。</li> <li>・毎月、各部に対してパブリックコメント実施案件の有無について調査を実施し、案件を取りまとめて、あだち広報、区ホームページ、Aメールによる周知を行った。</li> <li>・パブリックコメントを実施する所管の担当者に対して「足立区パブリックコメント活用マニュアル」を用いて手続きや周知方法等の説明を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度は 12 案件についてパブリックコメントを実施した。合計で 35 名、1 団体、から 99 件のご意見をいただき、それに対する区の考え方を公表することができた。</li> <li>・パブリックコメント実施所管がツイッター・フェイスブックによる情報発信や音声読み上げソフト・翻訳ソフトに活用できるテキスト形式資料のホームページ掲載、関係する住民や団体等への積極的な資料公表に取り組み、情報発信を強化できた。</li> </ul>

4- (1) -② 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

実績・効果に対する今後の課題・方針

- ・意見をいただくことができない事案もあり、実施した全ての事案に対して意見をいただけるよう、情報発信・周知活動を改善していく必要がある。HP、広報、など既存の媒体による情報発信に限らず、関係機関・団体への周知を実施所属に働きかけ、「意見提出数」を増やしていく。
- ・令和2年度のUD推進会議において、『いただいた声に対して「どれだけ計画等に反映できたかを成果指標とすべき』と意見を受けたため、令和3年度の実施結果調査より、事案ごとに「反映」「反映済み」「今後検討」「反映困難」「その他」で分類して調査を実施した。結果は成果指標として進捗管理を行うとともに、集約結果を分析し、改善につなげていく。
- ・本制度を実施していくことで、区民参画の促進と区政の透明性向上を図るとともに、区民との協働・協創による区政を推進していく。

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実**

**個別事業名： 審議会委員等の公募制の推進（政策経営課）**

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 審議会等に区民の意見を取り入れる。				
【事業概要】 「足立区審議会等の設置及び運営に関する指針」に基づき、審議事項に照らして必要があると認められる場合には、委員の一部を区民から公募する。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
区民公募枠のある審議会等の数 (年2回(7月と12月)に区民公募枠のある審議会等を調査・把握するため、その数を設定した。)	目標 11	11以上	11以上	11以上
	結果 11	11	11	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>区民公募枠のある審議会等の数は11で年度内の増減はなかった。</li> <li>多様な人材の参画を促すため、昨年度から1つ増え、7の審議会がオンライン会議システムの活用を開始した。</li> <li>政策経営課が所管する「足立区区民評価委員会」の区民委員を公募するにあたり、あだち広報や区ホームページでの周知のほかに、区民事務所や地域学習センター、保健センター、区内大学、子育てサロンでのチラシ配布を実施した。また、SNS(ツイッター、フェイスブック)を活用した情報発信も行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「足立区区民評価委員会」の区民委員を公募したところ、定員6名に対して14名の応募があったが、前年度からは5名の減少となった。年代別では、30代から70代までバランスよく選考できている。</li> <li>「足立区区民評価委員会」の委員からは、「オンライン会議システムの導入は、子育て世帯や働いている方の参画へつながる。」と引き続き評価を頂くことができた。また、通信環境が更に整備され、より円滑な会議運営が可能となったと評価を受けることができた。</li> <li>区民評価委員の公募用チラシについて、区民の方の目に止まる機会を増やすため、シティプロモーション課と庁内連携を行い、令和2年度から引き続きデザインを一新した。若年世代の参画を促すため、SNSを活用した情報発信にも注力していく。</li> </ul>

4- (1) -② 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

**実績・効果に対する今後の課題・方針**

- ・区政運営の透明性の向上、簡素効率化等を図るとともに、区民の声を区政に反映するため、毎年度当初、庁内各課に「足立区審議会等の設置及び運営に関する指針」を周知する。
- ・各部において審議会等の新設・改選を行う際は、「足立区審議会等の設置及び運営に関する指針」に基づき、審議事項に照らして必要があると認められる場合には、委員の一部を区民から公募していく。
- ・オンライン会議システムの導入は、多様な人材の参加に効果的であると考えられる。今後も、審議会の委員の協議の上、オンライン会議システムの活用を引き続き検討していく。

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実**

**個別事業名： 審議会等の女性比率向上の取組みについて**  
(多様性社会推進課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 政策・方針の意思決定において、男女のバランスのとれた登用を進める。					
【事業概要】 審議会等委員の女性比率を高める。					
取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	女性比率	32.5%	35%	37.5%	40%
	目標		35.1%	35.1%	
	結果				

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>令和3年4月1日時点 35.1%</p> <p>令和6年度に審議会等委員の女性委員の比率が40%になることを目指し、40%以下の審議会をもつ所管にヒアリングを行った。</p>	<p>女性委員の比率が低い審議会の中で、推薦依頼団体数・構成員等から、改善の余地がある審議会を精査し、ヒアリングを行った。</p> <p>団体推薦の際は、代表者に限らず、新しい担い手に参画していただくよう所管に依頼した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>「足立区男女共同参画社会推進条例」では、「附属機関(審議会等)の委員の構成について、男女いずれか一方の委員の数が委員総数の10分の4未満となることのないように努める」(第12条)としている。</p> <p>意思決定の場に女性が少ないという状況を改善し、男女ともに意見を出し合える社会を目指すという目的がある。</p> <p>委員会によっては、委員の推薦依頼団体に女性が少ないという状況も、所管から声が上がっており、関係する各団体の理解・協力が不可欠である。地域への意識改革の意味でも、引き続き団体に協力を依頼するよう所管に働きかけをしていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実**

**個別事業名：「区民の声」のサービスアップの取組み**  
(区民の声相談課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 「区民の声」に迅速かつ的確に対応することにより、区民ニーズに応え、区政への満足度を向上させる。					
【事業概要】 「区民の声」制度を活用し、区民からの区政に関する意見・要望に対し、迅速に回答する					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
回答までの平均日数	目標	6.3 日	5.0 日※	5.0 日※	5.0 日※
	結果		5.0 日	5.9 日	

※ 次年度の回答日数の目標値は、「サービスアップ推進会議」で決定する。

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>区長を委員長としたサービスアップ推進会議を開催し、「いつでも、だれでも、どの手段でも」といった区民ファースト、ユニバーサルデザイン的な視点も含めて区民の声制度の質的な向上を図った。</p> <p>令和3年度の実績 5.9日</p>	<p>回答までの日数を縮減するとともに、区民に寄り添った懇切丁寧な説明を心掛けることで、区民満足度を高めるよう努めた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>令和3年度は、チェックリストに「結論を先に書く」「実現予定の場合は時期の目安を明確にする」といった項目を追加し、より分かり易く丁寧な回答をチェックすることで意識付けできるように変更した。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他



**施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実**

**個別事業名： 道路、公園、施設及び通学路の点検**  
(学務課、ユニバーサルデザイン担当課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】 検証から様々な人の意見を基に、だれもが利用しやすいまちをつくる。</p> <p>【事業概要】 障がいのある方や乳幼児子育て中の方々とともに、実際にまちを歩き、道路や公園、施設等の安全性や利便性、バリアフリー状況について検証する。 学校関係者、道路管理者、警察署とともに、小学校の通学路点検を実施し、検証する。</p>					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
まち歩き等を実施	目標	実施する機会ごとに随時			
	結果		実施した	実施した	

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリー地区別計画(花畑周辺地区編)の策定のため、障がい者団体の委員の方々と地区にお住いの障がいをお持ちの区民と共に、バリアフリー状況の点検を行った。</li> </ul> <p>【学務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校関係者、道路管理者、警察署と合同で令和3年度は区内45の小学校で延べ53回通学路合同点検を実施した。</li> </ul>	<p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち歩き点検を実施し、参加者の方々からの意見を反映したバリアフリー地区別計画を策定した。</li> </ul> <p>【学務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学校の通学路で交通安全上の課題のある箇所を関係者が合同で点検し、スクールゾーンの路面表示やグリーンベルトなど、児童が安全に通学できるまちづくりにむけた改善策を講じた。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <p>令和4年度にはバリアフリー地区別計画の策定予定地区があり、まち歩き点検の実施も予定している。これまで実施したまち歩き点検のチェックシートの形式から、より有用な意見が出るようなシートの作成に努める。</p> <p>【学務課】</p> <p>平成26年度～28年度は通学路表示板(文マーク)の更新に取り組み、平成29年度からスクールゾーンの路面表示やグリーンベルトの施工等を実施してきた。引き続き学校関係者、道路管理者、警察署と連携して合同点検に取り組み、通学路の安全確保を図っていく。</p> <p>また、各小学校で作成している「通学路安全マップ」は各校のレベルが担保できるよう更新と精度向上を依頼し、保護者への提供を周知していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価


### 施策名： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

#### ●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

##### 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

#### ●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>年齢や性別、特性それぞれに合わせて、届く広報と意見を聞く手法を区全体で検討が必要である。</p> <p>町会の加入率が減少していく中で、住民の声を聴く手法は区政としての大きな課題である。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

**柱立て** みんなに役立つ『しくみづくり』

**施策群** だれにでも伝わる情報を作成・発信する

**施策** 4-(2)-①

## ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用

### 施策の個別事業

- 1 外注印刷物作成報告書の確認（総務課）・・・・・・・・・・ P161
- 2 ウェアアクセシビリティに配慮した情報発信（報道広報課）・・・・・・・・・・ P162

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P163

**施策： ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用**
**個別事業名： 外注印刷物作成報告書の確認（総務課）**
**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもがわかりやすい印刷物の作成方法を周知し、わかりやすい印刷物の作成に寄与する。				
【事業概要】 ①「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物ガイドライン」や「カラーユニバーサルデザインガイドライン」の基準の適正化を図る。 ②外部に印刷を委託して作成した印刷物については、外注印刷物作成報告書から印刷物の内容を確認する。必要に応じて指導を行い、次の印刷物作成時に改善を促す。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
① 実施内容(ガイドラインの運用)	目標	改正	運用	
	結果		実施した	実施した
② 印刷物作成時のユニバーサルデザイン実施の確認及び指導	目標	必要に応じて指導		
	結果		実施した	実施した

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
①改正した印刷物ガイドラインについて全庁に周知した。 ②年間、376件の外注印刷物作成報告書について、総務課として確認し、2件の指導を行った。また、外注印刷物作成報告書の一部改正し、令和2年度より、チェック項目を増設し運用している。	①ガイドラインの運用方法への相談等に対応した。 ②区民向けのパンフレットやリーフレットは、ユニバーサルデザインに特に配慮がなされているかを確認している。課題があった2件については、色味に課題があり指導した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
①ガイドラインについては、引き続き全庁に周知し、運用方法への相談等に対応していく。 ②区の印刷物は、受け取る対象者に応じた表現や見せ方をするための工夫が必要である。ユニバーサルデザインの観点から引き続き印刷物を確認していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用**

**個別事業名： ウェブアクセシビリティに配慮した情報発信**（報道広報課）

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすいホームページにする。					
【事業概要】 「足立区ホームページアクセシビリティガイドライン」の基準を適正化し、職員に遵守させる。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
実施内容	目標	改定	運用		
	結果		実施した	実施した	改定

● **自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>インターネットリーダーを対象に映像による研修を実施(対象者 103名)</p> <p>ウェブアクセシビリティ確保の必要について周知をおこなった。</p>	<p>インターネットリーダーを対象に映像による研修を実施(対象者 103名)</p> <p>実施効果:アクセシビリティに対し「とても理解できた」及び「理解できた」と回答した割合 84%</p> <p>参加者コメント(抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセシビリティチェックについて今までよくわかっていなかったもので、何ためのものか知れてよかった。</li> <li>・当たり前のようにチェックはしていましたが、その意味まで考えたことが無かったので早速見直ししようと思いました。</li> <li>・普段とくんでいるチェックの意義を再確認できた。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>令和2年度は、区のホームページをスマートフォンで閲覧した割合が70%前後となった。スマートフォン端末で閲覧する際のアクセシビリティ(文字の大きさや文字スペース、操作性等)について周知する必要がある。</p> <p>インターネットリーダーだけではなく、ホームページ作成に関わる職員を対象に研修を行うなど、理解の促進を図る。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価

### 施策名： ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用


#### ● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

##### 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

報道広報課のホームページづくりについては、分かりやすい日本語、やさしい日本語への切替を進めており、また、曖昧検索の機能がついたので、分かりやすくなった。

情報アクセシビリティの観点から言うと、アクセシビリティ研修のアンケートで、ユーザーの属性を取るが良いと思う。例えば年代別で80歳以上はアクセスが低くなるなど検証できると思う。

#### ● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>提供いただいているホームページは、表現やアクセシビリティにおいてアップデートが図られており、素晴らしいです。「今後のさらなる発展」がUD推進の基軸となっている観点からは、「誰に情報が届いているか」の検証や、ホームページを使った情報アクセスができない・しにくい人々に、ソフト面を含めた情報支援を検討するなどの展開を期待します。</p>	<p>★★★★★              5段階評価の            5点</p>

**柱立て** みんなに役立つ『しくみづくり』

**施策群** だれにでも伝わる情報を作成・発信する

**施策** 4-(2)-②

## わかりやすい表現による印刷物の作成

### 施策の個別事業

- 1 だれでも読みやすい「あだち広報」を作成し発信する（報道広報課）・・・P165
- 2 ユニバーサルデザインに配慮した印刷物を作成する（関係各課）・・・P167

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P169



**施策： わかりやすい表現による印刷物の作成**
**個別事業名： だれでも読みやすい「あだち広報」を作成し発信する  
(報道広報課)**
**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<b>【目的】</b> だれもがわかりやすい冊子、パンフレット、広報紙等を作成する。				
<b>【事業概要】</b> ・計画冊子、啓発パンフレット、広報紙等について、「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物ガイドライン」に基づいて作成する。 ・バリエーション等の色弱模擬フィルターを活用する(総務課文書係にて貸出)。				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標	毎月2号ずつ 年2回発行	毎月2号ずつ 年2回発行	毎月2号ずつ 年2回発行	毎月2号ずつ 年2回発行
印刷物作成時におけるユニバーサルデザイン実施の有無及び確認製品等の活用	目標			
	結果		実施した	実施した

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを採用。</li> <li>・あだち広報の音声版「声の広報」のテープ版・デジタルCD版を発行。</li> <li>・音声読み上げソフトに対応した「あだち広報のテキスト版」をホームページに掲載。</li> <li>・10言語の自動翻訳に対応する「カタログポケット」に毎号掲載。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインチェック用の専用メガネやスマートフォンアプリを使って、カラーページの色味を確認し、色差が小さく見づらい箇所は、色の変更や明るさの調整を行った。</li> <li>・文章や写真だけでは意図が伝わりにくい場合は、イラストを積極活用し視覚化することで、記事内容をわかりやすくした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字や色味に関する意見や苦情等をほぼ受けることなく、年間24回の発行を終えた。</li> <li>・直接的な効果ではないが、東京都広報コンクール一枚写真、組み写真部門で最優秀賞、広報紙部門で第2席という評価を受けた。</li> </ul>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインに配慮した広報紙づくりを今後も徹底していく。</li> <li>・表紙や特集記事等のカラー面を中心に、メリハリのある文字配置や余白を効果的に使ったレイアウト等を行うことで、紙面の見やすさや読みやすさをさらに高めていく。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： わかりやすい表現による印刷物の作成**

**個別事業名： ユニバーサルデザインに配慮した印刷物を作成する**  
(関係各課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】 だれもがわかりやすい冊子、パンフレット、広報紙等を作成する。</p> <p>【事業概要】 計画冊子、啓発パンフレット、広報紙等について、「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物ガイドライン」に基づいて作成する。 バリエーション等の色弱模擬フィルターを活用する(総務課文書係にて貸出)。</p>				
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標				
印刷物作成時におけるユニバーサルデザイン実施の有無及び確認製品等の活用	目標	冊子作成時		
	結果	実施した	実施した	

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>【生活保護指導課】</p> <p>令和3年度は前年度と比較し、約2倍の受診者数となった。</p> <p>6月に8,000枚郵送したことにより、6月、7月の相談件数が、前年と比較し約2倍となった。</p> <p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <p>・バリアフリー新法第25条に規定する基本構想(バリアフリー地区別計画)を下記地区において、策定業務委託により作成した。</p> <p>足立区バリアフリー地区別計画(花畑周辺地区)</p> <p>製本版                    400部</p> <p>パンフレット    1,000部</p>	<p>【生活保護指導課】</p> <p>同健診は受診者が低調であったことから、これまで広報のみの周知であったものを、直接郵送で送付することで、より周知がなされるよう配慮・改善した。</p> <p>ひとり親の方に知っていただくために、親子支援課が郵送している、児童育成手当現況届に本チラシを同封いただき、周知した。また、足立成和信用金庫にも配架した。</p> <p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <p>作成にあたっては、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに加え、音声ガイドのUni-Voiceを用いて、誰もが見やすくわかりやすい地区別計画及びパンフレットとなるように工夫を施した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>【生活保護指導課】</p> <p>周知方法について、令和3年度の結果を受けて、検討していく。</p> <p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <p>バリアフリー地区別計画は、策定する10地区全てにおいて、様々な立場の人がバリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりに寄与するために必要な計画であり、今後も印刷物にあたっては、カラーユニバーサルデザインに配慮するのは当然のことながら、Uni-Voiceなどの新たな手法や取り組みも活用し、誰もが見やすく、わかりやすい印刷物を率先して作成する。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

## 施策の評価


### 施策名：ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理

#### ●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

##### 【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

あだち広報について、QRコードなどで、音声・動画で見れると便利だと思う。また、街角のデジタルサイネージなどもいい、あだち広報を読まなくても、見るあだち広報とか、聴くあだち広報みたいなもの流していただけると良いと思う。

#### ●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>情報取得方法が時代や技術によって変化してきていることを踏まえ、広報活動が常に検証され、更新されていくことを期待します。</p>	<p>★★★★★              5段階評価の            5点</p>

**柱立て** みんなに役立つ『しくみづくり』

**施策群** だれにでも伝わる情報を作成・発信する

**施策** 4-(2)-③

## だれもが利用しやすい電子情報の作成

### 施策の個別事業

- 1 だれもが利用しやすいホームページの作成及び SNS の発信（報道広報課）・・・P171
- 2 区議会ホームページの更新（区議会事務局）・・・P173

### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P174

**施策： だれもが利用しやすい電子情報の作成**

**個別事業名： だれもが利用しやすいホームページの作成及び  
SNS の発信化（報道広報課）**

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】</p> <p>だれもが利用しやすいホームページの作成及びSNS発信を行う。</p> <p>【事業概要】</p> <p>「足立区ホームページアクセシビリティ(※)ガイドライン」に基づき、ホームページ作成・運用が実現できる体制を整える。</p> <p>※アクセシビリティ:年齢や身体障がいの有無に関係なく、言語の違いや、どんな機器でも、だれでも必要とする情報に簡単にたどり着け、利用できること。</p>					
取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実施内容	目標	ホームページ再構築設計・構築	ホームページ見直し・課題対応	→	
	結果		実施した	実施した	
実施期間(継続して実施)	目標	ホームページ全件点検・ページ移行	アクセシビリティ試験実施・結果公開	→	
	結果		実施した	実施した	

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和4年度に足立区公式ホームページの翻訳言語数を108言語対応に改修するため、準備を進めた。更に、利用者が使用している端末で設定している言語に自動で切り替わるようにもする。</li> <li>● 令和4年3月末にホームページについて、ウェブサイトのアクセシビリティに関する日本工業規格(JIS X 8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針-情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス-第3部:ウェブコンテンツ」)に基づき、試験を実施。適合レベルAAに一部準拠。試験結果の公開。</li> </ul> <p>【SNS】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎月、反響が多かった記事トップ5を掲示板に掲載。効果的なSNSの書き方を情報発信研修で行った内容を繰り返し伝えた。以前はグループウェアの掲示板のみに掲載していたが、SNS担当者に直接レポートをメールで送付した。</li> <li>● LINEでは災害情報のほかに月2回、電子媒体版の広報紙の配信、区で作成したポスターと合わせて行政情報の配信、新型コロナウイルスワクチン接種の情報配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区内在住の109か国の外国籍の方に足立区の情報を得やすくする。</li> <li>● アクセシビリティ試験を行い、公開を行った。</li> </ul> <p>【SNS】</p> <p>昨年度と比べて投稿数が増加。投稿記事の品質も向上しており、フォロワー数の増加。Facebookでは減少したが、Twitterではいいね数(反響数)が増加している。</p> <p>LINEでは行政情報などの配信も行った。</p> <p>[Twitter] ※令和2年度比</p> <p>フォロワー数 2,908人増 投稿数 876件増 いいね数 1,538増</p> <p>[Facebook] 令和2年度比</p> <p>フォロワー数 333人増 投稿数 357件増 いいね数 9,348減</p> <p>[LINE]</p> <p>友だち登録数 32,707人 (令和4年3月末時点) 対前年 13,063人増</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイトルや記事内容のわかり易さ等、ホームページ特有のスキルを向上させるための職員研修を引き続き行う。</li> <li>● 昨年度に引き続き、ウェブサイトのアクセシビリティに関する日本工業規格(JIS X 8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針-情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス-第3部:ウェブコンテンツ」)に基づき、試験を実施する。また、Facebookが提供するタイムラインのプラグインはアクセシビリティ達成基準を満たしていないが、利便性を考え、機能として引き続き組み込んでいく。</li> <li>● LINEでどのような機能が拡張できるか調査し、実装可否の検討する。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他



**施策： だれもが利用しやすい電子情報の作成**
**個別事業名： 区議会ホームページの更新（区議会事務局）**
**●施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<b>【目的】</b> だれもが利用しやすいホームページ等を作成する。					
<b>【事業概要】</b> 議長が主催する「足立区議会広報委員会」での意見を基に、掲載内容の変更等を行う。					
	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取組みに対する指標					
更新回数(回/年)	目標	6回	6回	6回	6回
	結果	6回	6回	6回	

**●自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
足立区議会ホームページはこれまでに、読み上げソフトの導入、検索機能の向上やアクセシビリティを意識した誰もが見やすい、分かりやすい情報提供を行ってきた。 多言語化に向けた翻訳ソフト導入のために、委託業者と協議しどのような方法で導入可能か検討した。 令和3年度更新回数 6回/年	検索機能の追加…会議次第から語句検索が可能となり、各委員会で何が話し合われたか、検索しやすくなった。 表記の簡明化…ホームページ上の表記を一部変更し、区民目線を意識した語句を使用した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>読み上げソフトに対応した語句表記を徹底し、常にユニバーサルデザインを意識した更新を維持していく。</li> <li>令和4年4月中に開始する多言語化対応の円滑な運営を行う。</li> </ul>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名：だれもが利用しやすい電子情報の作成

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>区として積極的に取り組んでいる姿勢は素晴らしい。 日々進化する分野なので、常に改善に取り組んで欲しい。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

**柱立て** みんなに役立つ『しくみづくり』  
**施策群** 災害から身を守る情報を提供する

**施策** 4-(3)-①

## 効果的な防災・災害情報等の提供

### 施策の個別事業

- 1 Aメール・安心電話等による災害関連の情報発信（災害対策課、報道広報課）・・・P176
- 2 災害時に必要な情報の提供（災害対策課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P178
- 3 洪水ハザードマップ等による水害情報の発信（都市建設課）・・・・・・・・・・P180




### 施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P189

**施策： 効果的な防災・災害情報等の提供**

**個別事業名： Aメール・安心電話等による災害関連の情報発信**  
(災害対策課、報道広報課)

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p><b>【目的】</b> 災害時に必要な情報をだれにでも届くようにする。</p> <p><b>【事業概要】</b> ①A-メールを周知し、登録件数の増加を図る。 ②A-メールを活用し、必要な災害情報を迅速に発信する。 ③緊急情報伝達システム「あだち安心電話」では大雨や台風による河川の水位上昇・氾濫のおそれがあるときに、電話で対象地域に一斉に音声を送信し、河川水位や避難情報などを伝える。</p>					
取り組みに対する指標	計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
Aメールの登録件数	目標	累計 81,000 件	累計 87,000 件	登録増加に向けた周知活動	
	結果		94,071 件	103,025 件	
Aメールでの災害情報の発信状況	目標	災害等発生時			
	結果		実施した	実施した	
「あだち安心電話」による情報発信状況	目標	必要に応じて			
	結果		26,032 件	26,636 件	

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>【A-メール】 台風情報や土のうの配布情報の配信を適宜配信した。</p> <p>【安心電話】 令和3年度は、河川の水位上昇及び氾濫の恐れがなく、配信なし</p> <p>【安心FAX】 ※ユニバーサルデザイン推進計画に追加して新たに実施 令和3年度は、河川の水位上昇及び氾濫の恐れがなく、配信なし</p> <p>【LINE】 ※ユニバーサルデザイン推進計画に追加して新たに実施 台風情報や月2回電子版あだち広報を配信した。</p>	<p>【A-メール】 登録者に適宜情報の配信を行った。 登録件数は、94,071件(令和3年3月末)から103,025件(令和4年3月末)に増加した。</p> <p>【安心電話】 避難行動要支援者への周知を実施し、26,032件(令和3年3月末)から26,636件(令和4年3月末)に増加した。</p> <p>【安心FAX】 ろう者協会と協力し周知を実施。 登録者:193件(令和3年3月末)から258件(令和4年3月末)に増加した。</p> <p>【LINE】 小学校の保護者向けの入学案内チラシにLINEを掲載し、周知を実施。 友だち登録者:19,644件(令和3年3月末)から32,707件(令和4年3月末)に増加した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>【A-メール】 民生委員などの協力を得ながらA-メール登録件数増加促進のための周知を実施する。</p> <p>【安心電話】 登録件数の増加促進のための周知を実施する。</p> <p>【安心FAX】 ろう者協会と協力しながら登録件数の増加促進のための周知を実施する。</p> <p>【LINE】 区民事務所や学校、子育て施設などの協力を得ながら登録件数の増加促進のための周知を実施する。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 効果的な防災・災害情報等の提供**

**個別事業名： 災害時に必要な情報の提供（災害対策課）**

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】					
災害時に必要な情報をだれにでも届くようにする。					
【事業概要】					
①防災行政無線のスピーカーを新設・更新する。					
②災害時に必要となる一時集合場所標識板・避難場所標識等の情報の多言語化を図る。					
③安全な避難誘導を行うため、避難場所等の所在地等の情報を防災ナビで表示する。					
④足立区公式ツイッター、フェイスブック等で災害情報を提供する。					
計画年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
取組みに対する指標					
整備箇所数	目標	70 か所	53 か所	移設等必要時に	
	結果		51 か所		
整備場所	目標	避難場所標識 60 か所	75 か所		
			70 か所		
	結果	一時集合場所 標識 10 か所	10 か所	10 か所	10 か所
	結果	海拔表示 100 か所	100 か所	100 か所	100 か所
更新頻度	目標	変更の都度			
	結果				
提供頻度	目標	災害発生時に			
	結果				

## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>②一時集合場所10か所、海拔表示100か所の多言語化実施。</p> <p>③防災ナビから防災アプリ及び災害ポータルサイトに移行することで、従来と比べて防災・災害情報を増強した。</p>	<p>①「聞こえない」「聞こえにくい」地域の改善ができた。</p> <p>②前年度に引き続き、多言語化することでより外国の方に対する情報提供が可能になった。</p> <p>③数千回線のテレドーム利用を周知することで、防災行政無線の聴き取り向上につながった。</p> <p>④回線状況や画質向上、2画面化等により、より良い情報発信が可能となった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>②一時集合場所及び海拔表示については、災害危険度判定等に基づいて、引き続き毎年予定通り実施していく。</p> <p>③防災アプリ及び災害ポータルサイトについては、避難所の最新情報など最新のものが閲覧できるよう随時更新していく。また避難所開設時における運用について更なる検討を重ねていく。災害情報については、必要に応じて他の所管と連携して、様々なツールを使い、わかりやすい情報提供に努める。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

**施策： 効果的な防災・災害情報等の提供**

**個別事業名： 洪水ハザードマップ等による水害情報の発信（都市建設課）**

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p><b>【目的】</b> 日頃から水害に備え、水害発生時に安全かつ速やかな避難ができるよう情報を提供する。</p> <p><b>【事業概要】</b> ①カラーユニバーサルデザインに配慮した洪水ハザードマップを作成し、区内全戸に配布する。区転入者には随時配布する。 ②洪水ハザードマップ啓発映像を足立区公式動画サイト等で公開するなどして、周知を図る。 ③出水期(6～10月)前や台風接近時などに、足立区公式ツイッター等で洪水ハザードマップに関する情報を発信する。</p>				
計画年度 取組みに対する指標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ハザードマップ作成及び配布に関する進捗、配布部数	目標 作成 結果 全戸配布	20,000 部/年 35,000 部配布	20,000 部/年 27,000 部	20,000 部/年
ハザードマップの周知方法	目標 啓発映像 結果 制作	周知活動 継続実施	実施した	
ハザードマップの情報発信回数	目標 4 回以上/年 結果 4 回	4 回以上/年 4 回	4 回以上/年 4 回	4 回以上/年



## ●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果		計画どおり進行	
実績・UDとして実施したこと		効果・UDの視点で達成できたこと	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区転入者や洪水ハザードマップ未所有の区民等に冊子約 27,000 部を配布した。また、カラーユニバーサルデザインに配慮して令和 4 年 4 月改訂版洪水ハザードマップの作成を行った。</li> <li>・梅雨入り時や台風の接近が予想された際に、SNS 等を活用して洪水ハザードマップの確認等を促す情報発信を計 4 回行った</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・足立区公式動画サイトで公開している洪水ハザードマップ解説動画が令和 3 年度に約 6 万回再生され、周知や理解の促進に寄与した。</li> </ul>	
実績・効果に対する今後の課題・方針			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大により、令和 3 年度はイベントでの PR など対面による周知活動を実施することができなかった。令和 4 年 4 月にハザードマップが改訂されることから、対面式でできない場合には Web 等を利用した情報発信を通じ、ハザードマップの必要性について周知していく。</li> </ul>			

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

4- (3) -① 効果的な防災・災害情報等の提供

施策の評価


**施策名：効果的な防災・災害情報等の提供**

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

特にありません。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>災害時に情報が届かなければ生命に関わるので、課題を確認しながら確実に情報が届くよう改善を重ねてください。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>